

上 下 水 道 事 業 年 報

令 和 4 年 度

(R4. 4. 1 ~ R5. 3. 31)

鈴 鹿 市 上 下 水 道 局



上 下 水 道 局 庁 舎 本 館

上下水道局庁舎の概要

本館

- 場 所 鈴鹿市寺家町1170番地
- 敷 地 面 積 8,198㎡
- 建 築 面 積 庁舎棟 1,096㎡ 倉庫棟 250㎡
- 延 床 面 積 庁舎棟 3,172㎡ 倉庫棟 489㎡
- 構 造 庁舎棟 鉄筋コンクリート造3階建 倉庫棟 鉄骨造2階建
- 工 期 平成10年10月～平成12年2月
- 建 設 事 業 費 13億7,600万円（庁舎建設工事費のみ）



上下水道局庁舎別館

上下水道局庁舎の概要

別館

- 場 所 鈴鹿市寺家町1170番地
- 敷 地 面 積 767m²
- 建 築 面 積 559m²
- 延 床 面 積 1,081m²
- 構 造 鉄骨造2階建
- 工 期 平成27年6月～平成28年2月
- 建 設 事 業 費 3億6,600万円（庁舎建設工事費のみ）

目 次

第1 機構

1 組織体制	1 1
2 職員数	1 1
3 歴代事業管理者等	1 2
4 事務分掌	1 3
(1) 経営企画課	1 3
(2) 経理課	1 3
(3) 営業課	1 3
(4) 水道工務課	1 4
(5) 下水道工務課	1 4
(6) 水道施設課	1 4

第2 水道事業

1 事業の沿革	
(1) 沿革	1 7
① 創設まで	1 7
② 創設事業	1 7
③ 第1期拡張事業	1 8
④ 第2期拡張事業	1 8
⑤ 第3期拡張事業	1 8
⑥ 第4期拡張事業	1 9
⑦ 第5期拡張事業	1 9
⑧ 第5期拡張変更事業	1 9
⑨ 鈴鹿市水道施設整備方針	2 0
(2) 創設事業及び拡張事業のあゆみ	2 2
2 施設概要	
(1) 配水ブロック図	2 5
(2) 施設系統図	2 6
(3) 施設一覧表	2 8
(4) 中央管理室	3 3
(5) 送水場	3 5
ア 平野送水場	3 5
イ 平田送水場	3 7
ウ 庄野送水場	3 9
エ 河田送水場	4 1
オ 広瀬送水場	4 3

(6) 水源施設	4 4
(7) 配水施設	4 5
(8) ポンプ所	5 0
(9) ろ過池・浄水池	5 0
3 業務状況	
(1) 水源の取水内訳	5 1
(2) 電力使用量及び電力料金の推移	5 3
(3) 薬品使用量の推移	5 4
(4) 送水量の推移	5 6
(5) 配水量の推移	5 8
(6) 給水状況の推移	5 9
(7) 給水栓数	6 0
ア 口径別	6 0
イ 地区別	6 0
ウ 用途別	6 0
(8) 水道メーターの設置状況	6 1
(9) 水道メーターの新規設置及び取替件数と検針業務状況	6 1
(10) 給水工事件数	6 1
(11) 導水管延長	6 2
(12) 送水管延長	6 2
(13) 配水管延長	6 3
(14) 水質試験件数	6 4
(15) 水質検査成績表	6 6
ア 送水場, 配水池	6 6
イ 給水栓	6 8
(16) 漏水発生状況	7 4
(17) 漏水発生の分類	7 5
ア 配水管	7 5
イ 給水管	7 5
(18) 水道料金の変遷	7 6
(19) 口径別分担金の変遷	8 3
(20) 用途別の使用水量	8 4
(21) 用途別の給水収益	8 4
4 財務	
(1) 企業債の概要	8 5
(2) 比較損益計算書	8 6
(3) 比較貸借対照表	8 8

5	経営分析	
(1)	配水量分析表	9 3
(2)	施設の効率性	9 4
(3)	経営の効率性	9 6
(4)	財政状態の健全性	1 0 2
6	水道事業ガイドライン	1 0 5

第3 公共下水道事業

1	事業の沿革	
(1)	沿革	1 2 1
(2)	事業のあゆみ	1 2 2
ア	全体計画の経緯	1 2 2
イ	都市計画決定の経緯	1 2 3
ウ	事業計画の経緯	1 2 4
(3)	普及状況の推移	1 2 5
(4)	全体計画区域図	1 2 6
2	施設概要	
(1)	処理分区界図	1 2 7
(2)	污水管きょ	1 2 8
ア	北勢沿岸流域下水道（南部処理区）流域幹線管きょ	1 2 8
イ	污水幹線管きょ	1 2 8
ウ	污水管きょ	1 3 0
(3)	ポンプ場	1 3 1
3	業務状況	
(1)	電力使用量及び電力料金の推移	1 3 2
(2)	用途別の使用量	1 3 3
(3)	汚水処理量の推移	1 3 4
(4)	維持管理費	1 3 5
(5)	三重県流域下水道事業の維持管理負担金	1 3 5
(6)	下水道本管工事に伴う公共ます設置基数	1 3 6
(7)	排水設備の工事件数	1 3 6
(8)	排水設備工事に伴う公共ます設置基数	1 3 6
(9)	下水道使用料の変遷	1 3 7
(10)	受益者負担金制度	1 3 8
(11)	普及促進	1 3 9
ア	水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給	1 3 9
イ	生活保護世帯水洗便所改造費等助成金交付	1 3 9
(12)	下水道排水（排除）基準	1 4 0

4 財務	
(1) 企業債の概要	1 4 1
(2) 比較損益計算書	1 4 2
(3) 比較貸借対照表	1 4 4
5 経営分析	
(1) 事業の概要	1 4 8
(2) 施設の効率性	1 4 8
(3) 経営の効率性	1 5 0
(4) 財政状態の健全性	1 5 4
6 下水道事業ガイドライン	1 5 7

第4 農業集落排水事業

1 事業の沿革	
(1) 沿革	1 6 7
(2) 普及状況の推移	1 6 8
(3) 事業箇所図	1 6 9
2 施設概要	1 7 0
3 業務状況	
(1) 電力使用量及び電力料金の推移	1 7 9
(2) 用途別の使用量	1 8 1
(3) 汚水処理量の推移	1 8 2
(4) 維持管理費	1 8 4
(5) 施設使用料の変遷	1 8 5
(6) 普及促進	1 8 6
ア 水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給	1 8 6
イ 農業集落排水接続促進補助金	1 8 6
4 財務	
(1) 企業債の概要	1 8 7
(2) 比較損益計算書	1 8 8
(3) 比較貸借対照表	1 9 0
5 経営分析	
(1) 事業の概要	1 9 4
(2) 施設の効率性	1 9 4
(3) 経営の効率性	1 9 6
(4) 財政状態の健全性	2 0 0

第5 合併処理浄化槽設置整備事業

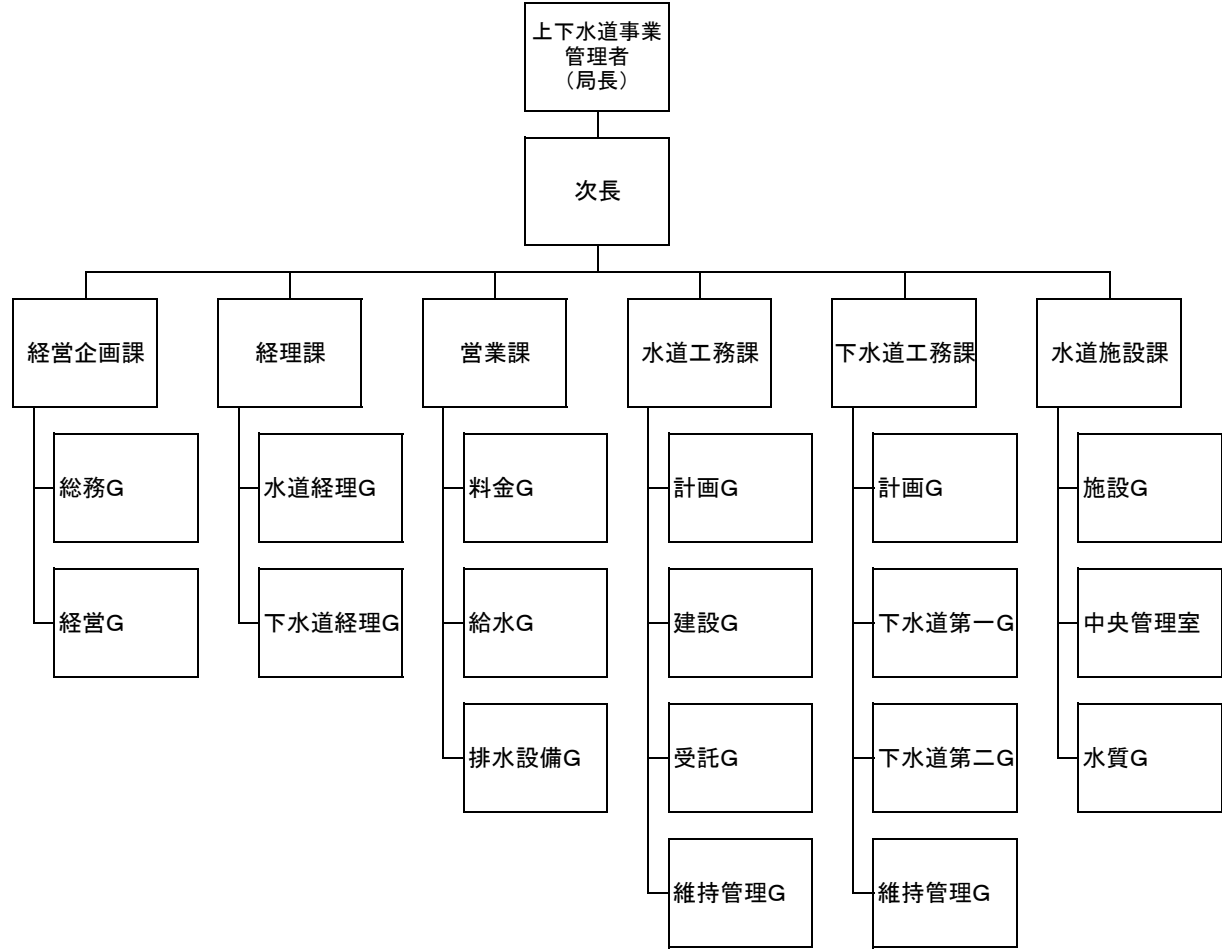
1 事業の沿革	
(1) 沿革	2 0 5

(2) 事業の変遷	205
2 補助	
(1) 補助金額	206
(2) 補助基数, 補助事業費	206
第6 防災	
1 防災への取組	
(1) 概要	209
2 施設整備概要	
(1) 水道事業	210
ア 緊急取水拠点施設一覧	210
イ 非常用資機材一覧表	211
ウ 緊急遮断弁一覧表	212
エ 耐震性貯水槽	212
オ 給水車	212
カ 予備動力	213
(2) 下水道事業	214
ア 予備動力	214
イ マンホールトイレ設置可能マンホール整備状況	214
ウ マンホールトイレ設置可能マンホール箇所図	215
(3) 農業集落排水事業	216
第7 略歴年表	
1 水道事業	219
2 下水道事業	227

第 1 機 構

1 組織体制

令和5年3月31日現在



2 職員数(所属別, 職種別)

令和5年3月31日現在

	次長	経営企画課	経理課	営業課	水道工務課	下水道工務課	水道施設課	計
事務		10	7	6			2	25
技術	1			6	27	23	8	65
技能							10	10
計	1	10	7	12	27	23	20	100

(再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除く。)

3 歴代事業管理者等

職名	就任年月日	退任年月日	氏名	備考
水道事業管理者	昭和28. 10. 1	昭和34. 6. 30	永田 幸義	水道課長
水道事業管理者	昭和34. 7. 1	昭和39. 2. 28	長岡 秀雄	水道課長
水道事業管理者	昭和39. 3. 1	昭和42. 7. 30	大井 博郎	水道課長
水道事業管理者	昭和42. 8. 1	昭和44. 4. 30	北川 藤正	水道課長
水道事業管理者	昭和44. 5. 1	昭和45. 3. 31	北川 藤正	水道部長
水道事業管理者	昭和45. 4. 1	昭和45. 9. 30	加藤 正信	水道部長
水道事業管理者	昭和45. 10. 1	昭和48. 9. 30	落合 清	水道部長
水道事業管理者	昭和48. 10. 1	昭和53. 4. 14	赤塚 実	水道部長
水道事業管理者	昭和53. 4. 15	昭和55. 3. 31	宮崎 恭光	水道部長
水道事業管理者	昭和55. 4. 1	昭和56. 9. 30	柴田 俊生	水道部長
水道事業管理者	昭和56. 10. 1	昭和57. 9. 30	藤田 武	水道部長
水道事業管理者	昭和57. 10. 1	昭和59. 3. 31	田辺 幸夫	水道部長
水道事業管理者	昭和59. 4. 1	昭和62. 4. 30	片岡 俊雄	水道部長
水道事業管理者	昭和62. 5. 1	昭和63. 3. 31	尾崎 宗男	水道部長
水道事業管理者	昭和63. 4. 1	平成2. 3. 31	小川 平孝	水道部長
水道事業管理者	平成2. 4. 1	平成3. 3. 31	小川 平孝	
水道事業管理者職務代理者	平成3. 4. 1	平成3. 4. 30	伊藤 智	水道局次長
水道事業管理者	平成3. 5. 1	平成7. 4. 30	片岡 俊雄	
水道事業管理者職務代理者	平成7. 5. 1	平成7. 5. 17	東浦 瑛二	水道局次長
水道事業管理者	平成7. 5. 18	平成9. 3. 31	藤田 收	
水道事業管理者	平成9. 4. 1	平成13. 3. 31	内田 等	
水道事業管理者	平成13. 4. 1	平成17. 3. 31	中尾 征郎	
水道事業管理者	平成17. 4. 1	平成21. 3. 31	倉田 勝良	
水道事業管理者	平成21. 4. 1	平成23. 12. 30	宮崎 守	
水道事業管理者職務代理者	平成23. 12. 31	平成24. 3. 31	坂下 正広	水道局次長
水道事業管理者	平成24. 4. 1	平成28. 3. 31	林 治門	
上下水道事業管理者	平成28. 4. 1	令和元. 6. 30	谷口 誠	
上下水道事業管理者	令和元. 7. 1		富田 佳宏	

4 事務分掌

令和5年3月31日現在

(1) 経営企画課

- ア 公告式及び例規の制定改廃に関する事。
- イ 公印及び文書に関する事。
- ウ 企業職員の人事、給与、勤務条件等に関する事。
- エ 企業職員の研修、福利厚生及び労働安全衛生に関する事。
- オ 労働組合に関する事。
- カ 財産の取得、管理及び処分に関する事。
- キ 庁舎及び公用車の管理に関する事。
- ク 入札、契約及び調達に関する事。
- ケ 上下水道局内の連絡調整及び取りまとめに関する事。
- コ 経営の基本計画及び事業計画に関する事。
- サ 予算の原案等の作成及び予算の執行に関する事。
- シ 企業債に関する事。
- ス 事業内の調整に関する事。

(2) 経理課

- ア 上下水道事業に係る資金計画及び運用に関する事。
- イ 上下水道事業に係る収入及び支出の審査及び執行に関する事。
- ウ 上下水道事業に係る決算及び財務諸表に関する事。
- エ 上下水道事業に係る資産の評価及び固定資産台帳に関する事。
- オ 上下水道事業に係る現金等の出納及び保管に関する事。

(3) 営業課

- ア 水道料金、下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料に関する事。
- イ 水道、下水道及び農業集落排水処理施設の使用開始及び休廃止に関する事。
- ウ 水道料金の滞納による停水処分に関する事。
- エ 量水器に関する事。
- オ 公共下水道の受益者負担金に関する事。
- カ 合併処理浄化槽設置費補助に関する事。
- キ 臨時給水に関する事。
- ク 給水装置の審査及び相談に関する事。
- ケ 簡易専用水道に関する事。
- コ 宅内排水設備の指導及び審査に関する事。
- サ 特定施設及び除外施設の指導及び調査に関する事。
- シ 公共下水道事業及び農業集落排水事業の普及及び促進に関する事。

- ス 公共下水道及び農業集落排水の水質規制に関すること。
- セ 公共ますに関すること。
- ソ 水洗化便所等改造資金の融資あっせんに関すること。

(4) 水道工務課

- ア 水道施設の調査研究及び将来計画に関すること。
- イ 水道事業の認可申請及び変更申請に関すること。
- ウ 導水管、送水管及び配水管の整備に関すること。
- エ 導水管、送水管、配水管及び給水管の維持管理に関すること。
- オ 個人申請による公道配水管布設に関すること。
- カ 開発に係る配水管に関すること。
- キ 漏水等の調査及び修繕の計画及び実施に関すること。
- ク 取水施設、浄水施設、送水場、配水池及び加圧ポンプ所の整備に関すること。
- ケ 導水管、送水管及び配水管の災害復旧に関すること。

(5) 下水道工務課

- ア 公共下水道施設及び農業集落排水処理施設の調査研究及び将来計画に関すること。
- イ 公共下水道事業及び農業集落排水事業の認可申請及び変更申請に関すること。
- ウ 下水道施設の整備及び維持管理に関すること。
- エ 集合型浄化槽の接続に関すること。
- オ 制限行為許可申請、占用及び加工申請に関すること。
- カ 下水道施設の災害復旧に関すること。
- キ 長寿命化事業に関すること。

(6) 水道施設課

- ア 取水施設、浄水施設、送水場、配水池及び加圧ポンプ所の整備及び維持管理に関すること。
- イ 取水、送水及び配水の統計に関すること。
- ウ 取水施設、浄水施設、送水場、配水池及び加圧ポンプ所の運転監視及び保守点検に関すること。
- エ 水質試験に関すること。
- オ 取水施設、浄水施設、送水場、配水池及び加圧ポンプ所の災害復旧に関すること。

第 2 水 道 事 業

1 事業の沿革

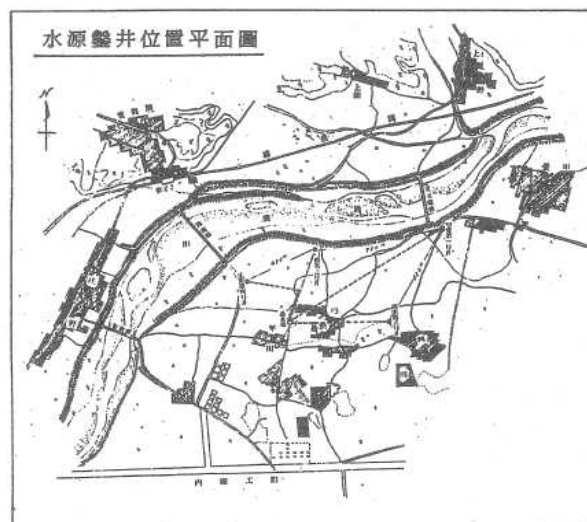
(1) 沿革

① 創設まで

鈴鹿市は戦時中の昭和 17 年、軍需施設の建設が気運となり 2 町 12 村（鈴鹿郡国府村、庄野村、高津瀬村、牧田村及び石薬師村並びに河芸郡白子町、神戸町、稻生村、飯野村、河曲村、一ノ宮村、箕田村、玉垣村及び若松村）が合併して軍都として発足した。

本市の水道事業は、軍需工場として平田町に開設された旧海軍工廠とその軍関係宿舎に必要な水の確保のため昭和 18 年に鈴鹿川右岸 4 か所に深さ 100～150 メートルの井戸を水源として設けられた水道施設を昭和 22 年 9 月、大蔵省（当時）から一時無償使用許可を得て給水を開始したのが始まりである。当時の水道施設は旧海軍工廠とその周辺の旧工廠住宅約 800 世帯に限られたもので給水栓も 300 栓程度であった。

旧海軍工廠の送水場施設は、第 1 期拡張事業で認可を受け平田送水場として改良・改築され使用している。また、第 2 号井・第 4 号井はそれぞれ現在の平田 2 号井・平田 3 号井として改造され、第 1 号井・第 3 号井は廃止されている。



② 創設事業（昭和 25 年～昭和 34 年）

水道創設事業は、旧海軍工廠の水道施設の拡充を基本とし、市内中央地域を水道区域に、その周辺を簡易水道区域とする構想をもとに市内一円に水道を普及させようと、昭和 25 年から 10 か年継続事業で開始した。

水道の給水拡張区域は、神戸、白子、玉垣、若松、庄野及び平田町一帯で、計画給水人口 40,000 人に対し 1 日最大給水量 6,000 m³を供給しようとするもので、ここに水道の誕生をみるに至った。

一方、同時期の昭和 25 年、本市は戦後復興と都市形成をめざして工場設置奨励条例を制定し、大工場を次々と誘致した。その結果、昭和 31 年に厚生省（当時）から工場用水の確保を目的とする事業拡張計画の変更認可を受け、計画給水人口 40,000 人に対し 1 日最大給水量 8,000 m³の施設を総額 2 億 1 千万円で昭和 34 年に竣工した。

③ 第 1 期拡張事業（昭和 33 年～昭和 44 年）

第 1 期拡張事業は誘致工場の拡張や増設、さらに続々と進出する大工場の設立創業による水需要の増加が見込まれ、また大工場の進出に伴って生じた人口の増加と将来の水需要確保に対する検討が行われた結果、計画給水人口 71,000 人に対し 1 日最大給水量 30,000 m³とする拡張計画の認可を昭和 33 年に厚生省から受け翌昭和 34 年に着工した。

それ以後、給水区域の拡大を図るために昭和 38 年から第 1 次から第 3 次までの事業変更を行い、計画給水人口を 77,500 人とし 1 日最大給水量 35,000 m³とする変更工事に総額 7 億 4 千万円を費やし昭和 44 年に竣工した。

この計画によって庄野水源の創設と庄野送水場の完成、平田送水場の改修、道伯配水池の建設が行われ、水道の給水区域も庄野町のほか汲川原、甲斐、地子町、野辺、十宮、安塚、河田、竹野、柳、土師、中若松の各町まで拡大した。

④ 第 2 期拡張事業（昭和 44 年～昭和 51 年）

第 2 期拡張事業は、大都市部への産業・人口の集中防止を図るために制定された近畿圏整備法及び中部圏開発整備法の適用を受けたことにより工場進出と人口の増加が著しくなったことと、生活様式の向上による水の使用量が増加したことによって水不足が生じたことから、昭和 44 年に計画給水人口 92,500 人に対し 1 日最大給水量 55,000 m³の計画を着工し総額 16 億 1 千万円をもって昭和 47 年に竣工した。

また、水道の給水区域拡大により鈴鹿川以東の簡易水道の統合が容易となったことから、水道への統合を進める事業変更認可を昭和 47 年に受けて総事業費 25 億 9 千万円をもって昭和 51 年に竣工した。

⑤ 第 3 期拡張事業（昭和 50 年～平成 6 年）

第 3 期拡張事業は、三重県北勢水道用水供給事業により 1 日最大給水量 10,000 m³の水道用水を受水し、鈴鹿川以西の西部上水道の統合と将来の水需要増加に備える目的で、計画給水人口 163,000 人に対し 1 日最大

給水量 104,000 m³の計画を昭和 50 年に着工し、総額 8 億円で昭和 56 年に竣工した。

しかし、昭和 54 年、北伊勢工業用水道が市内へ延長されたことにより、需要水量中の大きな割合を占めていた工場等の生産用水が工業用水道へ切り替わり、水需要は大幅に減少したため、計画給水人口 166,000 人、1 日最大給水量 94,000 m³とする第 2 次事業変更認可を昭和 61 年に受け、総事業費 83 億円をもって平成 6 年に竣工した。

⑥ 第 4 期拡張事業（平成 3 年～平成 13 年）

第 4 期拡張事業は、新規水源開発（和泉地区 3 井戸）及び三重用水事業を水源とする三重県北勢水道用水供給事業からの浄水受水（平成 6 年度から 1 日最大 3,300 m³、平成 8 年度から 6,600 m³に増量）による水源確保や配水池等の建設を行うことにより、人口増加による需要水量の増加に対応した給水能力の向上を図ったものである。

また、鈴鹿市西部山間地域における簡易水道統合を進めるとともに、老朽管更新により一層の安全かつ安定給水体制の確立をめざし、計画給水人口 187,900 人、1 日最大給水量 108,000 m³、総事業費 130 億円の認可を平成 3 年に受けた。

⑦ 第 5 期拡張事業（平成 12 年～平成 21 年）

第 5 期拡張事業は、将来の人口増加等による需要量の増加から現有施設では給水能力が不足すると考えられ、さらに環境変化による原水水質の悪化が心配される中、給水能力不足の対応並びにライフラインとしての水源及び水質を確保していくために、配水施設の増補強、浄水施設改良及び送水施設強化等の施設整備を図り、より一層の安全給水体制の確立をめざしたものである。

また、庄内簡易水道事業を水道へ統合することにより、都市計画区域全域を水道区域とし、長良川河口堰^{ぜき}を水源とする北中勢水道用水供給事業（第 2 期拡張事業）から 13,000 m³/日受水することにより給水の安定性を確保するもので、平成 12 年 4 月 4 日に厚生省の認可を受け、計画給水人口 205,500 人、1 日最大給水量 125,000 m³、総事業費 282 億円の規模で平成 22 年度を目標に策定した。

⑧ 第 5 期拡張変更事業（平成 21 年～平成 30 年）

平成 12 年から第 5 期拡張事業を実施して約 10 年が経過した。

この間、本市の人口は緩やかに増加しているものの、社会情勢の変化に

より需要水量の減少が進み、第5期拡張事業の当初計画との整合が図れなくなったため、第5期拡張変更事業計画として平成21年3月5日に厚生労働省の認可を受け、計画給水人口207,400人、1日最大給水量95,400m³、総事業費182億円の規模で平成30年度を目標に策定した。

⑨ 鈴鹿市水道施設整備方針（平成31年～）

第5期拡張変更事業計画の目標年度であった平成30年度を迎え、この間、水道事業を取り巻く環境は厳しさを増し、給水人口の減少、節水機器の普及や市民の節水意識の向上などにより給水量は減少してきた。

一方で、南海トラフ巨大地震への備えに加え、管路や施設の老朽化も進んでおり、これらの更新には膨大な費用が必要となることが予想されていた。これらの課題を踏まえ、新たな水道事業の目指す方向として「鈴鹿市水道ビジョン2018」を策定し、このうち個別施設のミクロ的・短期的な視点（～令和8年度）及び水道施設全体に対するアセットマネジメントに基づいたマクロ的・中長期的な視点（～令和18年度）で整備の方針を検討し、その結果を取りまとめたものとして「鈴鹿市水道施設整備方針」を策定した。

「鈴鹿市水道施設整備方針」の主な内容は、次のとおりである。

（ア）自己水源の有効活用と最適化

将来の需要予測や配水ブロックの再編、1日当たり取水量の適正化等により、配水ブロックごとの水需要と水源（深井戸等）の取水量のバランスを見直し、水源である深井戸の能力の維持管理も継続する。

また、天候等に左右され一定の取水量を確保することが難しい表流水取水施設について、その代替となる水源の確保を検討する。

（イ）老朽管更新

今回の整備方針において、平成25年度に策定し現在に至るまで実行してきた鈴鹿市水道事業老朽管更新基本計画について鈴鹿市水道ビジョン2018で掲げた投資目標を達成するよう見直しを行った。

具体的には平成29年度末時点で39%である「基幹管路の耐震化率」を令和8年度末に49%、令和18年度末に61%とすることを目標としている。

（ウ）主要施設の耐震化

第5期拡張変更事業において、鈴鹿市東部地域の主要な送配水施設の更新及び耐震化の目処が立ったため、引き続き鈴鹿市西部地域の送配水施設の更新及び耐震化を行う。

具体的には、平成 29 年度末時点で 79%である送水場の耐震化率を広瀬送水場、河田送水場等の更新により令和 18 年度末に 94%とすることを目標としている。

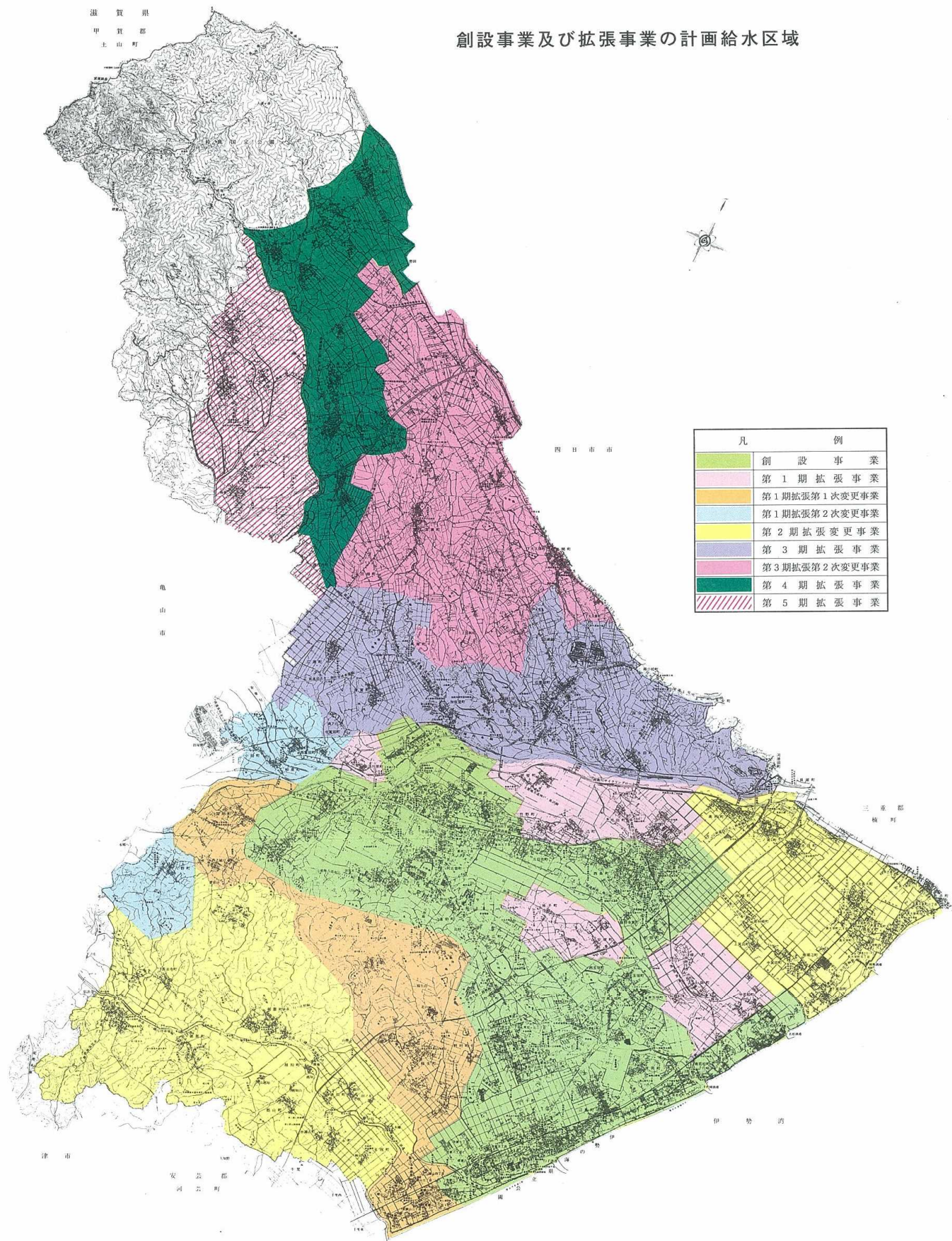
また、平成 29 年度末時点で 45%である配水池の耐震化率を住吉配池及び高岡配水池の耐震対応により令和 8 年度末に 96%、令和 18 年度末に 97%とすることを目標としている。

なお、この方針は平成 31 年（令和元年）以降の鈴鹿市における水道施設の整備概要及び目標を定めたものであり、厚生労働省による認可事業である「第 5 期拡張変更事業」は平成 31 年（令和元年）以降も継続している。

(2) 創設事業及び拡張事業のあゆみ

事業名	認可年月日	起工年月	竣工年月	事業費(千円)
創 設	昭和 26 年 10 月 18 日	昭和 26 年 4 月	昭和 32 年 3 月	62,800
変 更	昭和 31 年 9 月 28 日	昭和 32 年 4 月	昭和 34 年 3 月	214,000
第 1 期 拡 張	昭和 33 年 12 月 22 日	昭和 34 年 4 月	昭和 41 年 3 月	427,000
1 次 変 更	昭和 38 年 12 月 20 日	昭和 39 年 4 月	昭和 42 年 3 月	626,169
2 次 変 更	昭和 41 年 3 月 30 日	昭和 41 年 4 月	昭和 44 年 3 月	729,719
3 次 変 更	昭和 43 年 7 月 29 日	昭和 43 年 8 月	昭和 44 年 3 月	739,719
第 2 期 拡 張	昭和 44 年 3 月 31 日	昭和 44 年 4 月	昭和 47 年 3 月	1,614,048
変 更	昭和 47 年 3 月 31 日	昭和 47 年 4 月	昭和 51 年 3 月	2,594,048
第 3 期 拡 張	昭和 50 年 3 月 31 日	昭和 50 年 4 月	昭和 56 年 3 月	799,763
浄水施設変更	昭和 56 年 11 月 16 日	昭和 56 年 11 月	昭和 57 年 3 月	49,550
2 次 変 更	昭和 61 年 3 月 31 日	昭和 61 年 4 月	平成 6 年 3 月	8,300,000
第 4 期 拡 張	平成 3 年 9 月 24 日	平成 3 年 9 月	平成 13 年 3 月	13,000,000
第 5 期 拡 張	平成 12 年 4 月 4 日	平成 12 年 4 月	平成 23 年 3 月	28,200,000
1 次 変 更	平成 21 年 3 月 5 日	平成 21 年 4 月	平成 31 年 3 月	18,264,750
鈴鹿市水道施設 整備方針	—	平成 31 年 3 月	令和 19 年 3 月	31,611,000

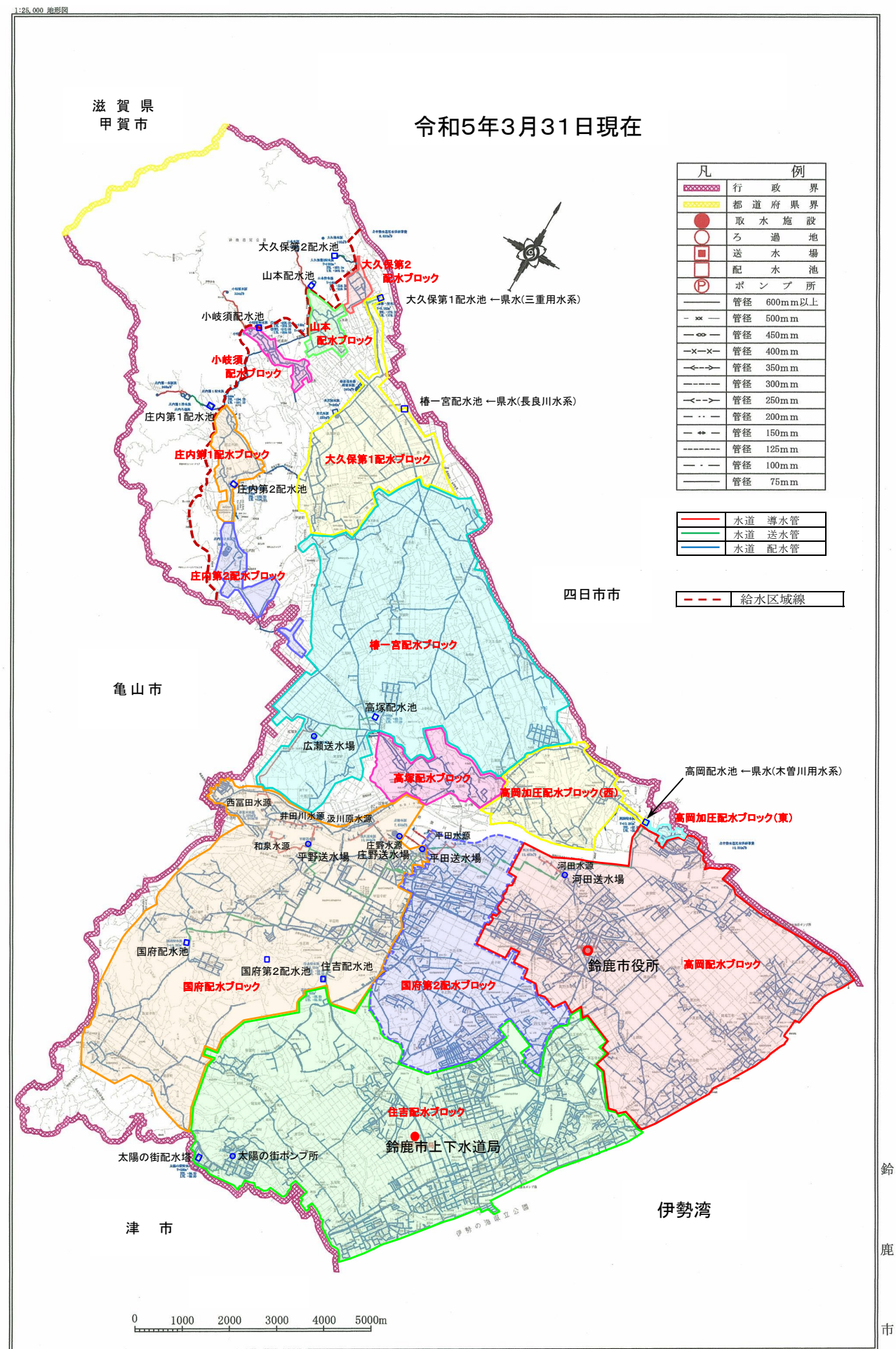
計画給水人口（人）	1人1日最大給水量（ℓ）	1日最大給水量（m ³ ）	目標年度	計画給水区域に編入された地域等
40,000	150	6,000	昭和35	国府町，平野町，住吉町，庄野町，平田町，算所町，岡田町，弓削町，白子町，江島町，寺家町，野町，西条町，三日市町，道伯町，飯野寺家町，須賀町，矢橋町，肥田町，岸岡町，東玉垣町，西玉垣町，南玉垣町，北玉垣町，南若松町，北若松町，神戸一円
40,000	200	8,000	41	該当なし
71,000	423	30,000	42	汲川原町，甲斐町，地子町，安塚町，河田町，竹野町，野辺町，十宮町，柳町，土師町，中若松町
71,000	423	30,000	42	稻生町，野村町，磯山町，国府町の一部
77,500	450	35,000	43	西富田町，和泉町，八野町，小田町，中富田町（山地区を除く。）
77,500	450	35,000	43	該当なし
92,500	595	55,000	48	該当なし
(108,510)	(829)	(90,000)	(48)	一ノ宮町，池田町，北長太町，南長太町，林崎町，南林崎町，上箕田町，中箕田町，下箕田町，北堀江町，高岡町，南堀江町，越知町，郡山町，中瀬古町，秋永町，五祝町，御藺町，徳田町，三宅町，長法寺町，徳居町
120,000	560	67,200	50	
163,000	638	104,000	55	中富田町（山地区に限る。），木田町，国分町，山辺町，広瀬町，津賀町，高塚町（荒神山地区を除く。），加佐登町，上野町，上田町（上田新田を除く。），石薬師町（鞠鹿野，信誠西を除く。），高岡町（北高岡に限る。），下大久保町（小谷の一部に限る。）
163,000	638	104,000	62	該当なし
166,000	566	94,000	平成5	深溝町，三畑町，追分町，下大久保町（小谷の一部を除く。），岸田町，花川町，石薬師町（鞠鹿野，信誠西に限る。），上田町（上田新田に限る。），高塚町（荒神山地区に限る。），山本町（神野に限る。），椿一宮町
187,900	575	108,000	12	大久保町，山本町（一部を除く。），伊船町，長澤町，小社町，小岐須町（一部を除く。）
205,500	608	125,000	22	東庄内町（一部を除く。），西庄内町（一部を除く。）
207,400	460	95,400	30	該当なし
200,189	381	76,428	令和18	該当なし



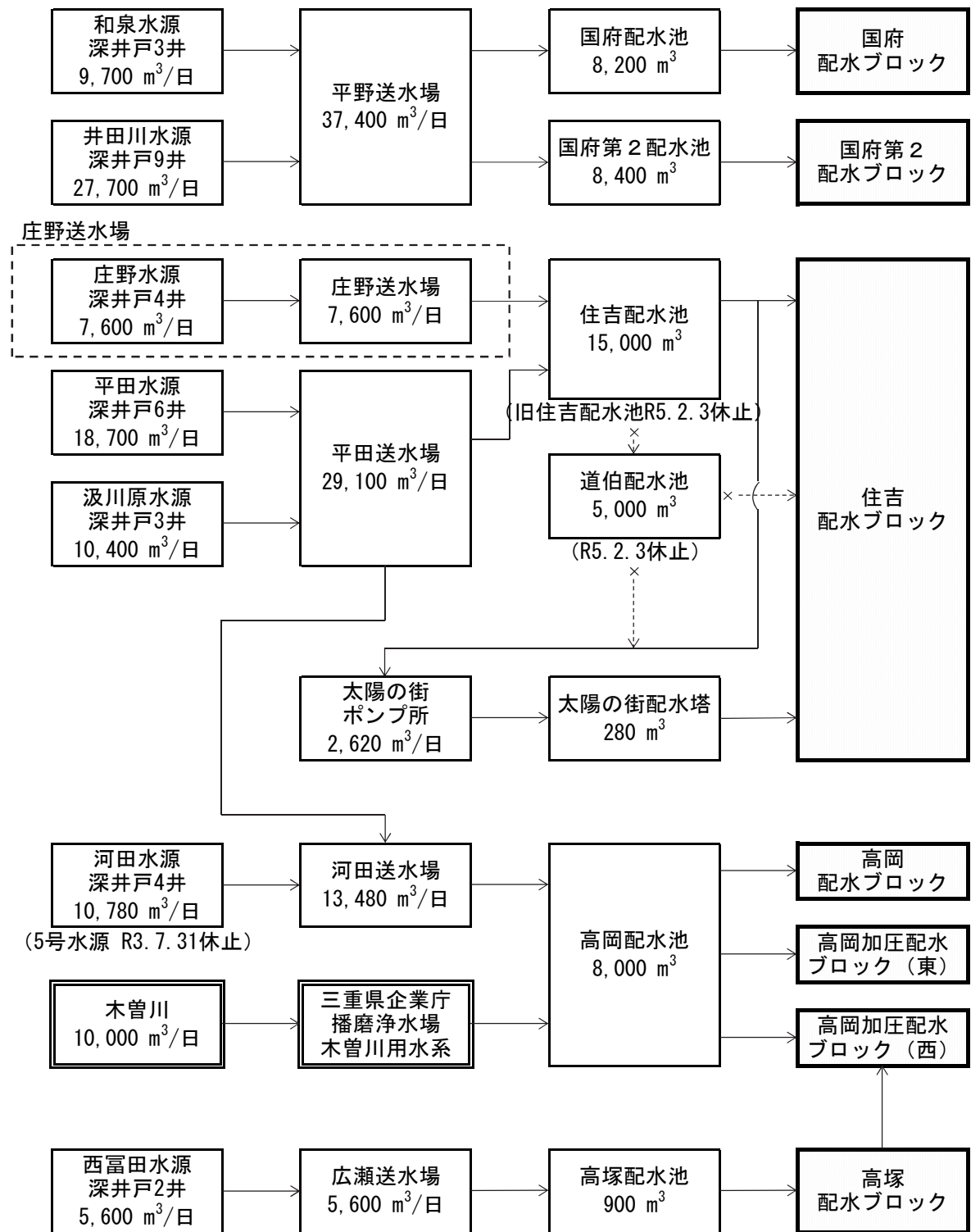
創設事業及び拡張事業の計画給水区域

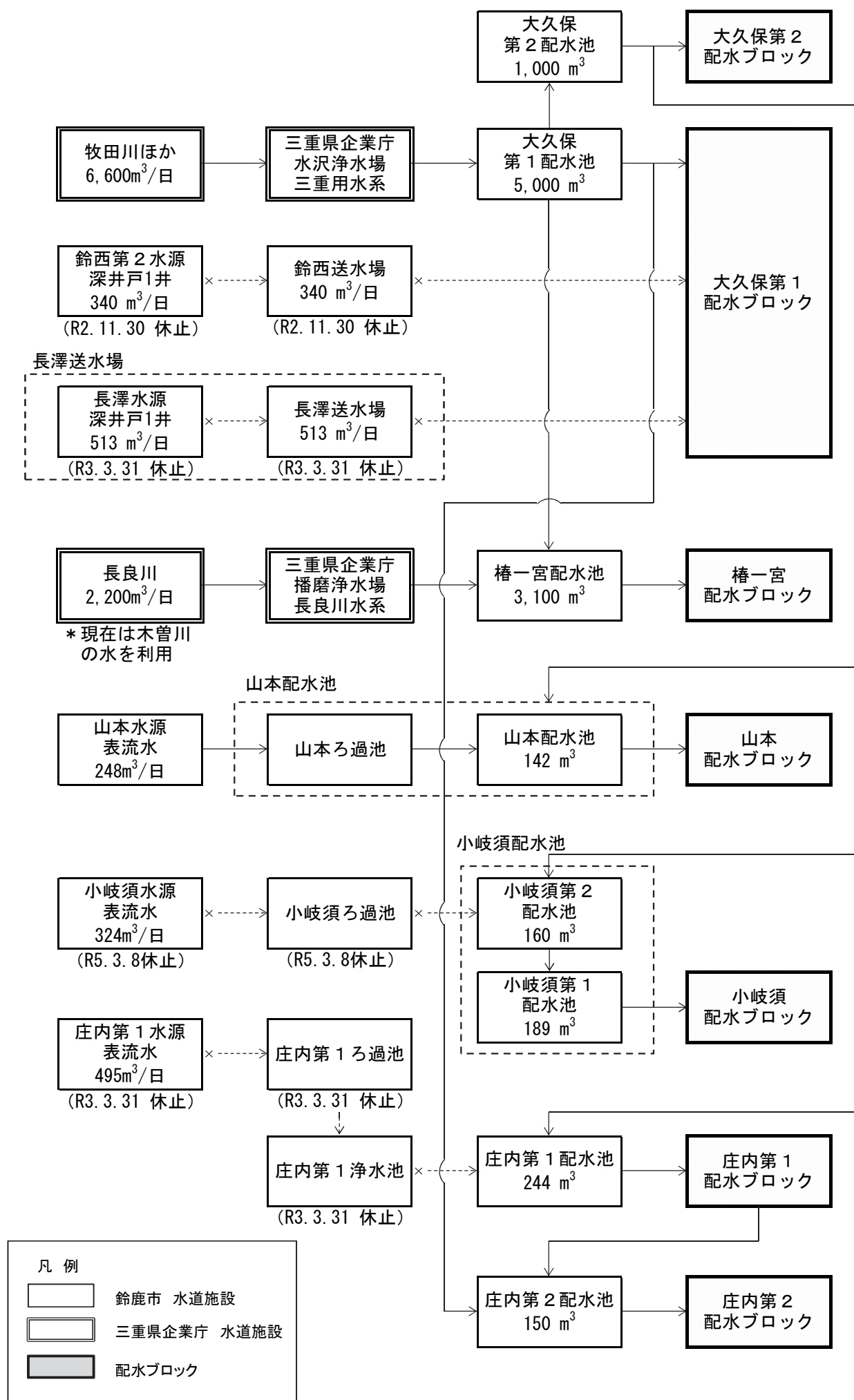
凡	例
	創 設 事 業
	第 1 期 拡 張 事 業
	第 1 期拡張第 1 次変更事業
	第 1 期拡張第 2 次変更事業
	第 2 期 拡 張 変 更 事 業
	第 3 期 拡 張 事 業
	第 3 期拡張第 2 次変更事業
	第 4 期 拡 張 事 業
	第 5 期 拡 張 事 業

2 施設概要
(1)配水ブロック図



(2) 施設系統図





(3) 施設一覧表

施 設 名	所 在 地	敷地面積 (㎡)
中 央 管 理 室	寺家町 1170 番地 (上下水道局本館 3 階)	8, 198. 66
平 野 送 水 場	平野町字千田屋敷 211 番地の 1	11, 579. 54
平 田 送 水 場	平田本町一丁目 17 番 1 号	10, 832. 40
庄 野 送 水 場	庄野町字久保 861 番地の 1	4, 149. 30
河 田 送 水 場	河田町字久保見 1427 番地	7, 001. 00
広 瀬 送 水 場	広瀬町字東野 2912 番地	2, 076. 03
住 吉 配 水 池	住吉町字一本松 6778 番地の 2	33, 474. 00
道 伯 配 水 池	住吉町字南大谷 6731 番地の 4	6, 517. 00
高 岡 配 水 池	高岡町字塚原 1838 番地の 1	6, 712. 00
高 塚 配 水 池	高塚町字下高塚 1258 番地	2, 787. 60
国 府 配 水 池	国府町字非焼 4677 番地の 1	2, 882. 00
国 府 第 2 配 水 池	国府町字小判場 7916 番地の 1	18, 563. 00
大 久 保 第 1 配 水 池	大久保町字上夫田 294 番地	13, 002. 00
大 久 保 第 2 配 水 池	大久保町字菅岡 2364 番地の 1	2, 902. 78
椿 一 宮 配 水 池	椿一宮町字焼印 1614 番地の 10	13, 299. 16
太 陽 の 街 配 水 塔	郡山町字西高山 2046 番地	880. 00
小 岐 須 第 1 配 水 池	小岐須町字田之岨 1109 番地の 2	121. 00
小 岐 須 第 2 配 水 池	小岐須町字北条 948 番地の 4	235. 00
山 本 配 水 池	山本町字殿山 1965 番地の 1	1, 121. 78
庄 内 第 1 配 水 池	西庄内町字鳩峯 1036 番地の 10	264. 00
庄 内 第 2 配 水 池	西庄内町字南保世倉 3401 番地	203. 58
太 陽 の 街 ポ ン プ 所	郡山町字西高山 2002 番地の 18	205. 57
小 岐 須 ろ 過 池	小岐須町字田之岨 1103 番地の 1	570. 00
平 田 1 号 (北・南) 水源	弓削町字中川原 1080 番地	4, 348. 00
平 田 1 号 予 備 水 源	弓削町字中川原 1070 番地	600. 00
平 田 2 号 水 源	弓削町字中川原 1061 番地	493. 00
平 田 2 号 予 備 水 源	庄野町字堀越 970 番地の 2	500. 00
平 田 3 号 水 源	庄野町字堀越 1059 番地の 2	532. 00
庄 野 1 ～ 4 号 水 源	庄野町字久保 861 番地の 1	4, 149. 30
汲 川 原 1 号 水 源	汲川原町字屋敷田 105 番地の 2	395. 00
汲 川 原 2 号 水 源	汲川原町字屋敷田 41 番地の 19	562. 00
汲 川 原 3 号 水 源	汲川原町字屋敷田 35 番地の 3	467. 00

施 設 名	所 在 地	敷地面積 (㎡)
井 田 川 1 号 水 源	西富田町字前川原 20 番地の 2	282. 00
井 田 川 2 号 水 源	西富田町字前川原 47 番地の 1	807. 00
井 田 川 3 号 水 源	西富田町字前川原 61 番地の 2	1, 069. 16
井 田 川 4 号 水 源	中富田町字川原 701 番地の 2	388. 00
井 田 川 5 号 水 源	中富田町字川原 724 番地の 3	704. 00
井 田 川 6 号 水 源	中富田町字川原 729 番地の 3	490. 00
井 田 川 7 号 水 源	汲川原町字仁上 516 番地	462. 00
井 田 川 8 号 水 源	汲川原町字仁上 506 番地の 2	815. 00
井 田 川 9 号 水 源	汲川原町字内外垣内 250 番地の 7	878. 15
和 泉 1 号 水 源	和泉町字東垣内 816 番地	1, 153. 00
和 泉 2 号 水 源	和泉町字公文田 337 番地	897. 00
和 泉 3 号 水 源	和泉町字公文田 317 番地	1, 251. 00
河 田 1 号 水 源	甲斐町字花ノ木 459 番地	341. 00
河 田 2 号 水 源	甲斐町字花ノ木 471 番地	347. 00
河 田 3 号 水 源	野辺町字北浦 1160 番地	508. 00
河 田 4 号 水 源	河田町字久保見 1390 番地	1, 082. 00
西 富 田 1 号 水 源	西富田町字西浦 845 番地	231. 00
西 富 田 2 号 水 源	西富田町字西浦 2125 番地	862. 00
山 本 水 源 (表 流 水)	山本町字大谷	-
小 岐 須 水 源 (表 流 水)	小岐須町字祓塚	-

※令和 3 年度以前の休止施設を除く。

【中央管理室・送水場】



中 央 管 理 室



平 野 送 水 場



平 田 送 水 場



庄 野 送 水 場



河 田 送 水 場



広 瀬 送 水 場

【 配 水 施 設 】



住 吉 配 水 池



道 伯 配 水 池



高 岡 配 水 池



高 塚 配 水 池



国 府 配 水 池



国府第2配水池



大久保第1配水池



大久保第2配水池



樁 一 宮 配 水 池



太陽の街配水塔



小岐須第1・第2配水池



山 本 配 水 池



庄内第1配水池



庄内第2配水池

(4) 中央管理室

竣 工 事 業 費	平成30年3月 497,880,000円（中央監視制御設備更新費）
LCD 監視用端末 （二重化）	型 式 CENTUM VP R6 0 S Windows7 Professional SP1 メモリ容量 8GB 記憶容量 1TB モニタ 24インチ 2画面 通 信 制御LANインターフェイス（Vnet/Ip二重化） 情報LANインターフェイス（Ethernet）
帳 票 用 端 末 （二重化）	型 式 CENTUM VP R6 0 S Windows7 Professional SP1 メモリ容量 8GB 記憶容量 1TB モニタ 24インチ 通 信 情報LANインターフェイス（Ethernet）
帳 票 用 サ ー バ （二重化）	型 式 CENTUM VP R6 0 S Windows Server2008 R2 SP1 メモリ容量 8GB 記憶容量 1TB モニタ 17インチ 通 信 情報LANインターフェイス（Ethernet）
遠方監視制御装置	(TL500-BS1S-01) 使 用 回 線 NTT専用回線 3.4kHz 通 信 速 度 2,400bps 通 信 方 式 全二重同期方式 対 向 方 式 1：1
大画面監視装置	表 示 方 式 液晶方式 画 面 サ イ ズ 55インチ 6面マルチ 有 効 画 素 数 1,920×1,080

気 象 観 測 装 置	雨	量	計	測定範囲：0.5mm/1パルス
	日	射	計	測定範囲：0～1.4Kw・m ²
	温	度	計	測定範囲：-50～+50℃
	地	震	計	測定範囲：加速度0～1,000Gal
無 停 電 電 源 装 置	定	格	出 力	CVCF 15kVA
	蓄	電	池	据置鉛蓄電池
	交	流	入 力	3φ200V
	バ	イ	パ ス 入 力	1φ100V
自 家 発 電 設 備	定	格	出 力	150KVA
	デ	ィ	ーゼ ル 発 電 機	3φ210V 180ps/1,800rpm

(5) 送水場

ア 平野送水場

公 称 能 力	37,400 m ³ /日
竣 工	平成29年3月
事 業 費	2,277,000,000 円
敷 地 面 積	11,579.54 m ²
建 物	送風機棟 (RC造2階建) 延床面積 348.43 m ² 管理棟 (RC造1階建) 延床面積 811.76 m ²
水 槽	着水井 (RC造) 61.8 m ³ (18.2m ² × H3.4m × 1池) 原水槽 (RC造) 313.2 m ³ (52.2m ² × H3.0m × 2池) 脱炭酸塔処理水槽 (RC造) 184.0 m ³ (23.0m ² × H2.0m × 4池) 中間水槽 (RC造) 324.4 m ³ (54.08m ² × H3.0m × 2池) 流出渠 (RC造) 109.5 m ³ (36.5m ² × H3.0m × 1池) 浄水池 (RC造) 3,200.0 m ³ (340.5m ² × H4.7m × 2池)
ポ ン プ 設 備	原水ポンプ 水中渦巻ポンプ4台 φ250mm 6.49m ³ /min × 15m × 30kW × 400V
送 水 設 備	国府送水ポンプ 立軸斜流ポンプ5台 φ150mm 3.32m ³ /min × 84m × 75kW × 400V 吐出弁 φ150mm 外ネジ電動仕切弁 国府第2送水ポンプ 立軸斜流ポンプ5台 φ150mm 3.18m ³ /min × 69m × 75kW × 400V 吐出弁 φ150mm 外ネジ電動仕切弁
浄 水 設 備	エアレーション施設 脱炭酸塔4塔 処理能力 9,350m ³ /日/塔 送風機4台 195m ³ /min × 5.5kW × 400V
消 毒 設 備	次亜塩素酸ナトリウム貯蔵タンク V=6.0m ³ × 2基 PVC/FRP φ2,100mm H=2,300mm 薬注ポンプ2台 (次亜塩素酸ナトリウム) 8.13~725 ml/min × 0.3MPa
計 装 設 備	浄水池水位計 フロート式 0~5m 浄水池水位計 投込圧力式 0~5m 原水槽水位計2台 投込圧力式 0~5m 送水流量計2台 電磁式 φ300mm 0~1,000m ³ /h 脱炭酸塔流入流量計4台 電磁式 φ350mm 0~500m ³ /h 和泉水源総取水流量計 超音波式 φ400mm 0~1,000m ³ /h 井田川水源総取水流量計 超音波式 φ500mm 0~2,500m ³ /h

遠方監視制御装置	残留塩素計2台	無試薬形ポーラログラフ式 0～1.0mg/ℓ		
	送水PH計	ガラス電極式 0～14 PH		
	送水圧力計2台	0～1,500 kPa		
	送水温度計	測温抵抗体 0～40℃		
	送水濁度計	高感度透過散乱形 0～2,000度		
	中央 — 平野	IPルータ/IPルータ	NTT3.4kHz	2,400bps
	平野 — 国府	TL500/TL500	NTT3.4kHz	2,400bps
	平野 — 国府第2	TL500/TL500	NTT3.4kHz	2,400bps
	平野 — 井田川7	TL500/TL500	NTT3.4kHz	2,400bps
	平野 — 和泉	TL500/TL500	NTT3.4kHz	2,400bps
契約電力 電気設備	高圧電力	560kW		
	柱上気中開閉器	7.2kV	300A	12.5kA
	真空遮断器4台	7.2kV	600A	12.5kA
	変圧器	3φ6,600/420V 1,000kVA (モルト*) 2台 3φ420V/210V 75kVA (モルト*) 3φ420V/210-105V 50kVA (モルト*)		
無停電電源装置	蓄電池容量	150 Ah/10Hr	54セル	108V
自家発電設備	ディーゼル発電機	500kVA	3φ6,600V	
	燃料タンク	950ℓ	軽油	
緊急取水施設	給水栓11個	給水タンク車用給水塔		

イ 平田送水場

公 称 能 力	29,100 m ³ /日
竣 工	平成25年3月
事 業 費	1,750,000,000 円
敷 地 面 積	10,832.40 m ²
建 物	送風機棟 (RC造) 延床面積 173.37 m ² 管理棟 (RC造) 延床面積 532.34 m ² 自家発棟 (RC造) 延床面積 287.85 m ² 排水処理棟 (RC造) 延床面積 39.25 m ²
水 槽	着水井 (RC造) 48.6 m ³ (18m ² × H2.7m × 1池) 原水槽 (RC造) 242 m ³ (101.2m ² × H2.4m × 1池) 脱炭酸処理槽 (RC造) 111 m ³ (18.5m ² × H2.0m × 3池) 中間水槽 (RC造) 433 m ³ (108.41m ² × H2.0m × 2池) 浄水池 (RC造) 2,484 m ³ (540m ² × H2.3m × 2池)
ポ ン プ 設 備	原水ポンプ 水中渦巻ポンプ3台 φ250mm 6.74m ³ /min × 15m × 30kW × 440V 中間ポンプ 水中渦巻ポンプ4台 φ250mm 6.74m ³ /min × 20m × 37kW × 440V
送 水 設 備	送水ポンプ 立軸斜流ポンプ4台 φ250mm 6.74m ³ /min × 50m × 90kW × 440V 吐出弁 φ250mm 外ネジ電動仕切弁
浄 水 設 備	エアレーション施設 脱炭酸塔3塔 処理能力 9,700m ³ /日/塔 送風機3台 150m ³ /min × 5.5kW × 200V ろ過施設 圧力式密閉型ろ過機7基 処理能力 4,850m ³ /日/基
消 毒 設 備	次亜塩素酸ナトリウム貯蔵タンク V=4.0m ³ × 2基 PVC/FRP φ1,800mm H=2,000mm 薬注ポンプ2台 (次亜塩素酸ナトリウム) 173~518ml/min × 0.6MPa
計 装 設 備	浄水池水位計 フロート式 0~5m 浄水池水位計 投込圧力式 0~5m 原水槽水位計 投込圧力式 0~5m 中間水槽水位計 投込圧力式 0~5m 住吉送水流量計 電磁式 φ400mm 0~1,500m ³ /h 河田送水流量計 超音波式 φ500mm 0~500m ³ /h

遠方監視制御装置	平田水源系取水流量計	超音波式
		φ 600mm 0～1,500m ³ /h
	汲川原水源系取水流量計	超音波式
		φ 350mm 0～1,000m ³ /h
	残留塩素計	無試薬形ポーラログラフ式 0～1.0mg/ℓ
	送水PH計	ガラス電極式 0～14PH
	送水圧力計	半導体式 0～1,000kPa
	送水温度計	測温抵抗体 0～40℃
	中央 — 平田	TL500/TL500 NTT3.4kHz 2,400bps
	平田 — 汲川原	TL500/TL500 NTT3.4kHz 2,400bps
契 約 電 力	高圧電力	459kW
	柱上気中開閉器	7.2kV 200A 8kA
	真空遮断器3台	7.2kV 600A 12.5kA
	変圧器	3φ 6,600/440V 500kVA (モルト [°]) 2台
		3φ 440V/210V 100kVA (モルト [°])
無 停 電 電 源 装 置		1φ 440V/210-105V 30kVA (モルト [°])
	蓄電池容量	100Ah/10Hr 54セル 108V
	ディーゼル発電機	500kVA 3φ 6,600V
	燃料タンク	950ℓ 軽油
	太陽光発電設備	9.9kW
防 犯 設 備	赤外線センサー	監視カメラ
	緊急取水施設	給水栓11個 給水タンク車用給水塔

ウ 庄野送水場

公 称 能 力	7,600 m ³ /日
竣 工	平成19年3月10日
事 業 費	1,016,000,000円
敷 地 面 積	4,149.30 m ²
建 物	エアレーション棟 (RC造) 延床面積 83.56m ² 送水ポンプ棟 (RC造) 延床面積 212.59m ² 管理棟 (RC造) 延床面積 309.62m ²
水 槽	原水槽 (RC造) 215m ³ (126.72m ² ×H1.7m×1池) 浄水池 (RC造) 968m ³ (161.46m ² ×H3m ×2池)
ポ ン プ 設 備	原水ポンプ 水中斜流ポンプ3台 φ250mm 7.3m ³ /min×10m×30kW×200V
送 水 設 備	送水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ3台 φ250mm 7.3m ³ /min×55m×110kW×440V 吐出弁 φ250mm 外ネジ電動仕切弁
浄 水 設 備	エアレーション施設 脱炭酸塔2塔 処理能力 10,500m ³ /日/塔 送風機3台 150m ³ /min×11kW×200V
消 毒 設 備	次亜塩素酸ナトリウム貯蔵タンク V=1.5m ³ ×2基 PVC/FRP φ1,200mm H=1,600mm 薬注ポンプ2台 (次亜塩素酸ナトリウム) 12.4~124ml/min×0.3MPa
計 装 設 備	浄水池水位計 フロート式 0~4m 浄水池水位計 投込圧力式 0~4m 原水槽水位計 投込圧力式 0~4m 取水井戸水位計4台 投込式 0~10m×2 0~15m×2 送水流量計 超音波式 φ500mm 0~1,000m ³ /h 総処理流量計 超音波式 φ500mm 0~1,000m ³ /h 取水流量計4台 超音波式 φ150・200mm 0~150・250・300m ³ /h 残留塩素計 無試薬形ポーラログラフ式 0~1.0mg/ℓ 送水PH計 流通形 (洗浄形) 0~14PH
遠 方 監 視 制 御 装 置	中央 — 庄野 TL500/TL500 NTT3.4kHz 2,400bps
契 約 電 力	高圧電力 195kW
電 気 設 備	柱上気中開閉器 7.2kV 300A 12.5kA 真空遮断器 7.2kV 600A 12.5kA

無停電電源装置 自家発電設備	変圧器	3φ6.6kV/440V 750kVA (モルト)
		3φ440V/210V 300kVA (モルト)
		1φ440V/210-105V 20kVA (モルト)
	蓄電池容量	200Ah/10Hr 54セル 108V
防犯設備 緊急取水施設 取水施設	ディーゼル発電機	375kVA 3φ440V
	燃料タンク	950ℓ 軽油
	監視カメラ	
	給水栓10個 給水タンク車用給水塔	
	1号井φ 600mm×20m	(φ125mm×1.4m ³ /min×20m× 11kW)
	2号井φ 600mm×24m	(φ150mm×2.6m ³ /min×20m× 15kW)
	3号井φ 600mm×24m	(φ150mm×2.6m ³ /min×20m× 15kW)
	4号井φ1,000mm×21.5m	(φ150mm×2.2m ³ /min×25m×18.5kW)

エ 河田送水場

公 称 能 力	13,480 m ² /日
竣 工	昭和49年3月31日
事 業 費	412,000,000 円
敷 地 面 積	7,001.00 m ²
建 物	中間水槽上屋 (RC造) 延床面積 53m ² 着水井室・薬注室 (RC造) 延床面積 101.88m ² ポンプ室 (RC造) 延床面積 381.30m ²
水 槽	中間水槽 (RC造) 182m ² (121.5 m ² ×H1.5m×1池) 浄水池 (RC造) 2,290m ² (763.66m ² ×H3.0m×2池)
ポ ン プ 設 備	中間水ポンプ 水中モーターポンプ3台 φ250mm×8.7m ³ /min×17m×37kW×440V
送 水 設 備	送水ポンプ 2段立軸斜流ポンプ4台 φ250mm×7.0m ³ /min×63m×110kW×440V 吐出弁 φ250mm 外ネジ電動仕切弁
浄 水 設 備	エアレーション施設 脱炭酸塔2塔 処理能力 12,500m ³ /日/塔 送風機3台 135m ³ /min×3.7kW×220V ろ過施設 圧力式密閉型ろ過機6基 処理能力 5,000m ³ /日/基
消 毒 設 備	次亜塩素酸ナトリウム貯蔵タンク V=4.79m ³ ×2基 PVC/FRP φ1,292mm L=3,240mm 薬注ポンプ2台 (次亜塩素酸ナトリウム) 3.18~268ml/min×0.3MPa
計 装 設 備	浄水池水位計 フロート式 0~4m 浄水池水位計 投込圧力式 0~4m 中間水槽水位計 投込圧力式 0~2m 送水流量計 超音波式 φ600mm 0~2,000m ³ /h 取水流量計 超音波式 φ400mm 0~2,000m ³ /h 残留塩素計2台 無試薬形ポーラログラフ式 0~2.0mg/l PH計 ガラス電極式 0~14PH
遠方監視制御装置	中央 — 河田 TL500/TL500 NTT3.4KHz 2,400bps
契 約 電 力	高压電力 295kW
受 変 電 設 備	柱上気中開閉器 7.2kV 400A 12.5kA 真空遮断器 7.2kV 600A 12.5kA 変圧器 3φ6.6kV/440V 750kVA (モ-ルト)

	3φ6.6kV/210～105V 50kVA（モルト）
	3φ440V/220V 50kVA（モルト）
直 流 電 源 装 置	蓄電池容量 50Ah/10Hr 54セル 108V
無 停 電 電 源 装 置	ミニUPS 3KVA/10min
自 家 発 電 設 備	ディーゼル発電機 20kVA 3φ220V
	燃料タンク 198ℓ 軽油
防 犯 設 備	赤外線センサー 監視カメラ
緊 急 取 水 施 設	仮設給水栓

オ 広瀬送水場

公称能力	5,600 m ³ /日
竣工	昭和37年3月
事業費	28,657,000 円
敷地面積	2,076.03 m ²
建物	ポンプ棟(RC造) 延床面積 104m ²
水槽	浄水池(RC造) 半地下式 110m ³ 有効水位2.2m HWL=+53.85m LWL=+51.65m (5.0m×5.0m×2.2m×2池=110m ³)
送水設備	送水ポンプ φ100mm 片吸込渦巻ポンプ2台 1.75m ³ /min 60m 30kW 1,750rpm 200V 送水ポンプ φ65mm 片吸込渦巻ポンプ1台 1.5m ³ /min 60m 22kW 3,600rpm 200V
受水弁	φ250mm 電動仕切弁 0.75kW
消毒設備	次亜塩素酸ナトリウム貯蔵タンク PVC製 容量 800ℓ 薬注ポンプ2台(次亜塩素酸ナトリウム) 0.25~25.1ml/min×1.0MPa 残留塩素測定装置 無試薬形ポーラログラフ式 0~1mg/ℓ
計装設備	水位計 フロート式 0~4m 投込圧力式 0~4m 取水流量計 超音波式 φ150mm 0~300m ³ /h 送水流量計 超音波式 φ150mm 0~300m ³ /h
遠方監視制御装置	中央 — 広瀬 TL500/TL500 NTT3.4kHz 2,400bps 広瀬 — 西富田1号 TL500/TL500 NTT3.4kHz 2,400bps 広瀬 — 西富田2号 TL500/TL500 NTT3.4kHz 2,400bps 広瀬 — 高塚配水池 専用回線 直送 4~20mA
契約電力	高圧電力 67kW
受変電設備	柱上気中開閉器 7.2kV 200A 8kA 真空遮断器 7.2kV 400A 8kA 3相変圧器(油入) 6.6kV/210V 100kVA
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 105kVA 発電機 3φ 220V 105kVA 4P 1,800rpm エンジン 107kW/1,800rpm 型式 6B105T-GL 燃料 軽油 燃料タンク 490ℓ(別置型)

※休止施設を除く。

(6) 水源施設

施 設 名		井		戸	揚 水 機	電 気 設 備	計 装 設 備		竣 工 年 月
		口径 (mm)	深度 (m)	ケーシング 天端標高 (+m)	φ mm*Qm³/min*Hm*Kw		水 位 計	流 量 計	
平田水源	1号（北）	1,000	29.9	+ 16.697	150*3.00*22.0*22	高圧52kW Tr 3φ 75KVA 1台 Tr 1φ 5KVA 1台 自発125KVA	投込圧力式 0~10m	超音波φ200 0~300m³/h	平成11年5月
	1号（南）	1,000	30	+ 16.650	150*3.30*22.0*22				平成25年4月
	1号（予）	600	30	+ 17.023	150*3.30*26.0*22	低 21KW		タービンφ200 0~300m³/h 電磁φ200 0~300m³/h	昭和46年3月
	2号	1,000	31	+ 17.798	200*3.60*32.0*30	低 33KW			平成8年3月
	2号（予）	600	30	+ 18.374	150*3.30*26.0*22	低 25KW		タービンφ200 0~300m³/h	昭和45年3月
	3号	500	32	+ 18.312	150*1.70*28.0*15	低 17KW			昭和35年3月
庄野水源	1号	600	20	+ 20.112	125*1.40*20.0*11	高圧195kW Tr 3φ 6600/440V 750KVA 1台 Tr 3φ 440/220V 300KVA 1台 自発375KVA	投込圧力式 0~15m	超音波φ150 0~150m³/h	昭和36年3月
	2号	600	24.3	+ 20.494	150*2.60*20.0*15			超音波φ200 0~250m³/h	昭和36年3月
	3号	600	24.3	+ 20.466	150*2.60*20.0*15				昭和36年3月
	4号	1,000	21.5	+ 20.729	150*2.20*25.0*18.5				平成19年3月
汲川 原水源	1号	1,000	30	+ 22.311	150*3.00*22.0*22	高圧73kW		超音波φ200 0~300m³/h	平成7年6月
	2号	600	30	+ 22.170	150*3.30*26.0*22	Tr 3φ 75KVA 3台			昭和44年6月
	3号	600	26	+ 21.873	150*3.30*26.0*22	Tr 1φ 3KVA 1台			平成4年5月
井 田 川 水 源	1号	1,000	25.7	+ 26.085	150*2.00*28.0*18.5	低 21KW	投込圧力式 0~10m	電磁 φ200 0~300m³/h	平成14年9月
	2号	1,000	26.4	+ 25.744	150*3.00*22.0*22	低 25KW			平成9年3月
	3号	1,000	30	+ 25.407	200*4.20*28.0*37	低 40KW			平成6年3月
	4号	600	30	+ 25.350	150*3.60*32.0*30	高圧65kW Tr 3φ 100KVA 1台 Tr 1φ 10KVA 1台		超音波φ200 0~300m³/h	昭和41年3月
	5号	600	30	+ 25.386	150*3.60*28.0*30				昭和41年3月
	6号	600	30	+ 24.697	150*2.50*22.0*18.5	低 21KW		昭和45年3月	
	7号	600	30	+ 25.051	150*3.60*32.0*30.0	低 34KW		昭和46年3月	
	8号	600	30	+ 23.834	200*3.70*28.0*30.0	低 33KW		昭和45年3月	
	9号	600	30	+ 25.199	150*3.80*36.0*37	低 40KW		超音波φ200 0~400m³/h	昭和45年3月
和泉 水源	1号	1,000	26.4	+ 28.109	150*1.70*28.0*15	低17KW自発60KVA		うず φ200 0~300m³/h	平成8年3月
	2号	1,000	28.7	+ 28.154	150*3.30*26.0*22	低25KW自発100KVA			平成9年2月
	3号	1,000	28.8	+ 28.166	150*3.00*22.0*22	低25KW自発100KVA			平成8年3月
河田 水源	1号	1,000	30	+ 13.750	150*3.30*26.0*22	低 25KW		超音波φ200 0~300m³/h	平成10年4月
	2号	1,000	26.7	+ 12.600	150*3.30*26.0*22	低 25KW			平成26年1月
	3号	1,000	27.5	+ 12.677	150*3.20*22.0*18.5	低 21KW			平成12年5月
	4号	1,000	30	+ 12.340	150*3.20*22.0*18.5	低 21KW			平成19年1月
西富田1号水源		600	30	+ 26.935	150*3.50*50.0*45	低 48KW			昭和46年6月
西富田2号水源		1,000	25.5	+ 27.425	150*2.57*44.0*37	低40KW自発125KVA			平成16年1月

※休止施設を除く。

(7) 配水施設

施設名 項 目		住 吉 配 水 池	道 伯 配 水 池	高 岡 配 水 池
水 槽	形 状	地下埋設 RC 造 角型	半地下式 RC 造 角型	地上露出 PC 造 円筒型
	寸 法	49.6×53.0cm ×2 池	31.5m×54.0m	φ30.0 m
	有効面積	5,018.99 m ²	1,680.3 m ²	706.86 m ²
	有効水深	3.0 m	3.0 m	15.0 m (12.0 m)
	容 量	15,000 m ³	5,000 m ³	8,000m ³ (減量運用)
標 高 水 位		HWL=+58.00 m LWL=+55.00 m	HWL=+56.50 m LWL=+53.50 m	HWL=+67.00 m (+64.00m) LWL=+52.00 m
建 物		A 池水位計室 RC 造 40.26m ² B 池水位計室 RC 造 40.26m ² 電気室 RC 造 76.19m ²	水位計室 RC 造 17.6 m ² 電気室 RC 造 22.3 m ²	電気室 RC 造 25.57 m ² ポンプ室 RC 造 91.89 m ² 3号ポンプ室 CB 造 15.00 m ² 高区ポンプ室 RC 造 54.02 m ²
バタフライ弁		流入弁φ500mm 手動弁 流出ハ [°] イ [°] ス弁φ700mm 手動弁 緊急遮断弁φ600mm 電動弁	流入弁φ600mm 電動弁 流入弁φ500mm 電動弁 ハ [°] イ [°] ス弁φ1,000mm 電動弁 緊急遮断弁φ300mm 電動弁	流入弁φ600mm 電動弁 受水弁φ400mm 電動弁 (県水) 流出弁φ700mm 電動弁 緊急遮断弁φ700mm 電動弁
水 位 計		フロート式 0～5 m 投げ込み式 0～5 m	フロート式 0～4 m 投げ込み式 0～4 m	投げ込み式 0～20 m 圧 力 式 0～20 m
流 量 計		-	超音波φ800mm 0～5,000 m ³ /h (住吉) 超音波φ450mm 0～1,000 m ³ /h (道伯)	超音波φ700mm 0～2,000 m ³ /h 超音波φ200mm 0～400 m ³ /h 電 磁 φ100mm 0～150 m ³ /h
監視制御設備		TL-500 NTT 3.4KHZ 帯 2,400 bps	TL-500 NTT 3.4KHZ 帯 2,400 bps	TL-500 NTT 3.4KHZ 帯 2,400 bps
着 工 年 月 日 完 成 年 月 日		平成 30 年 3 月 23 日 令和 4 年 12 月 1 日	昭和 38 年 10 月 25 日 昭和 39 年 5 月 31 日	昭和 51 年 2 月 20 日 昭和 52 年 3 月 31 日
事 業 費		2,940,000 千円*	40,000 千円	308,000 千円
備 考		自家発電設備 22.5KVA 三重県都市公園用地占用 (33,474m ²) 緊急取水施設 *令和5年度附帯工事実施予定	自家発電設備 6KVA (令和5年2月3日 運用休止)	自家発電設備 105KVA 加圧ポンプ 37kW×3 台 高岡高区加圧ポンプ 7.5kW×3 台 緊急取水施設 令和元年5月～減量運用(耐震性 確保のため)

施設名 項 目		高 塚 配 水 池	国 府 配 水 池	国府第 2 配水池
水 槽	形 状	半地下式 RC 造 角型	地上露出 PC 造 円筒型	地上露出 ステンレス 円筒型
	寸 法	12.0m×21.95m	φ37.5m	φ24.0m × 2 池
	有効面積	263.3 m ²	1,104.47 m ²	903.2 m ²
	有効水深	3.7 m	9.1 m (7.5 m)	9.3 m
	容 量	900 m ³	8,200 m ³ (減量運用)	8,400 m ³
標 高 水 位		HWL = +80.70 m LWL = +77.00 m	HWL = +86.00 m (+84.4 m) LWL = +76.90 m	HWL = +76.00 m LWL = +66.70 m
建 物		水位計室 CB 造 1.8 m ²	流量計室・電気室 RC 造 2 階建 93.59 m ²	流量計室・電気室 RC 造 地上 1 階, 地下 1 階 106.76 m ²
バタフライ弁		-	流入弁 φ500mm 電動弁 流出弁 φ700mm 電動弁 緊急遮断弁 φ700mm 電動弁	流入弁 φ500mm 手動弁 流出弁 φ700mm 手動弁 緊急遮断弁 φ350mm 電動弁
水 位 計		フロート式 0~4 m 投げ込み式 0~4 m	フロート式 0~10 m 投げ込み式 0~10 m	フロート式 0~10 m 投げ込み式 0~10 m
流 量 計		-	超音波 φ700mm 0~2,000 m ³ /h	電磁 φ350mm 0~2,000 m ³ /h
監 視 制 御 設 備		専用ケーブル (広瀬送水場~配水池)	TL-500 NTT 3.4kHz 帯 2,400 bps	TL-500 NTT 3.4kHz 帯 2,400 bps
着 工 年 月 日		昭和 35 年 10 月 1 日	平成 3 年 10 月 29 日	平成 26 年 8 月 19 日
完 成 年 月 日		昭和 36 年 8 月 15 日	平成 5 年 1 月 25 日	平成 28 年 11 月 30 日
事 業 費		11,200 千円	602,058 千円	864,990 千円
備 考		当初 300m ³ 2 池を建設し 昭和 43 年 11 月 20 日 300 m ³ 1 池を増設 (事業費 6,601 千円)	自家発電設備 12KVA 緊急取水施設 平成 23 年 3 月~減量運用(耐震 性確保のため)	自家発電設備 7.5KVA 緊急取水施設

大久保第 1 配水池	大久保第 2 配水池	椿一宮配水池
半地下式 RC 造 角型 41.4m×42.0m 1,678.32 m ² 3.0 m 5,000 m	地上露出 RC 造 角型 16.05m×15.8m 253.59 m ² 4.0 m 1,000 m ³	地上露出 PC 造 円筒型 φ18.2 m × 2 池 520.31 m ² 6.0 m 3,100 m ³
HWL = +179.30 m LWL = +176.30 m	HWL = +250.0 m LWL = +246.0 m	HWL = +135.0 m LWL = +129.0 m
薬注室 RC 造 2 階建 96.01 m ² 電気室・ポンプ室 RC 造 2 階建 253.40 m ²	電気室・ポンプ室 RC 造 42.00 m ²	電気計装・減菌・流量計室 RC 造 54.0 m ²
流入弁 φ350mm 電動弁 流出弁 φ500mm 手動弁 緊急遮断弁 φ500mm 電動弁	緊急遮断弁 φ300mm 電動弁	三重用水系受水弁 φ150mm 電動弁 長良川系受水弁 φ150mm 電動弁 流出弁 φ300mm 手動弁 緊急遮断弁 φ300mm 電動弁 水槽連絡弁 φ300mm 手動弁
フロート式 0～4 m 投げ込み式 0～4 m	フロート式 0～5 m 投げ込み式 0～5 m	フロート式 0～10 m 投げ込み式 0～10 m
超音波 φ500mm 0～500 m ³ /h 超音波 φ150mm 0～100 m ³ /h	電磁 φ300mm 0～200 m ³ /h	電磁 φ300mm 0～600 m ³ /h 電磁 φ150mm 0～400 m ³ /h
TL-500 NTT 3.4kHz 帯 2,400 bps	TL-500 NTT 3.4kHz 帯 2,400 bps	TL-500 NTT 3.4kHz 帯 2,400 bps
平成 4 年 12 月 14 日 平成 6 年 3 月 10 日	平成 15 年 7 月 8 日 平成 16 年 11 月 30 日	平成 21 年 12 月 11 日 平成 23 年 3 月 10 日
642,190 千円	205,692 千円	518,278 千円
自家発電設備 105KVA 緊急取水施設	自家発電設備 5KVA 緊急取水施設	自家発電設備 5KVA 緊急取水施設

施設名 項 目		太陽の街配水塔	小岐須第 1 配水池	小岐須第 2 配水池
水 槽	形 状	地上露出 PC 造円筒型架水槽	半地下式 RC 造 角型	地上露出 RC 造 角型
	寸 法	φ8.4 m	8.0m×8.75m	6.0m×9.0m
	有効面積	55.42 m ²	69.98 m ²	54.0 m ²
	有効水深	5.1 m	2.7 m	3.05 m
	容 量	280 m ³	189 m ³	160 m ³
標 高 水 位		HWL=+64.0 m LWL=+58.9 m	HWL=+208.00 m LWL=+205.30 m	HWL=+212.05 m LWL=+209.00 m
建 物		配水塔 RC 造 上部水槽, 下部電気室 配水塔の高さ 27.75 m	薬注室外 CB 造 5.32 m ² 電気室 鉄骨 [°] レハ [°] 18.48 m ² (H16)	
バタフライ弁		-	-	-
水 位 計		フロート式 0～7 m 投げ込み式 0～7 m	投げ込み式 0～4 m	フロート式 0～5 m 投げ込み式 0～5 m
流 量 計		-	超音波φ100mm 0～100 m ³ /h	超音波φ100mm 0～100 m ³ /h 超音波φ150mm 0～100 m ³ /h
監視制御設備		専用ケーブル (太陽の街ポンプ所～配水塔)	TL-500 3.4kHz 帯 2,400 bps	
着 工 年 月 日		平成 2 年 7 月 14 日		
完 成 年 月 日		平成 3 年 3 月 20 日	昭和 36 年 8 月 15 日	平成元年 3 月
事 業 費		121,455 千円	-	-
備 考		-	平成 11 年 4 月 1 日水道事業に統合 自家発電設備 5KVA	

山 本 配 水 池	庄 内 第 1 配 水 池	庄 内 第 2 配 水 池
半地下式 RC 造 角型 5.65m×8.4m 47.46 m ² 3.0 m 142 m ³	地上露出 RC 造 角型 6.4m×10.2m 65.28 m ² 3.75 m 244 m ³	地上露出 RC 造 角型 5.5m×5.5m 30.25 m ² 5.0 m 150 m ³
HWL＝＋238.58 m LWL＝＋235.58 m	HWL＝＋194.75 m LWL＝＋191.00 m	HWL＝＋109.30 m LWL＝＋104.30 m
電気室 RC 造 18.0 m ² 薬注室 RC 造 8.0 m ²	電気室鉄骨ﾌﾟﾚﾊﾞﾌﾞ 15.11 m ² 薬注室鉄骨ﾌﾟﾚﾊﾞﾌﾞ 3.45 m ²	電気室鉄骨ﾌﾟﾚﾊﾞﾌﾞ 15.11 m ² 薬注室鉄骨ﾌﾟﾚﾊﾞﾌﾞ 3.45 m ²
-	-	-
フロート式 0～5 m 投げ込み式 0～5 m	フロート式 0～4 m 投げ込み式 0～4 m	フロート式 0～5 m 投げ込み式 0～5 m
超音波φ150mm 0～100 m ³ /h 超音波φ100mm 0～100 m ³ /h 超音波φ200mm 0～100 m ³ /h	電磁 φ100mm 0～ 200 m ³ /h 超音波φ150mm 0～ 100 m ³ /h	超音波φ100mm 0～ 100 m ³ /h 超音波φ100mm 0～ 100 m ³ /h 超音波φ100mm 0～ 100 m ³ /h
TL-500 3.4kHz 帯 2,400 bps	TL-500 3.4kHz 帯 2,400 bps	TL-500 3.4kHz 帯 2,400 bps
-	-	-
-	-	-
平成 14 年 4 月 1 日水道事業に統合 自家発電設備 5KVA	平成 15 年 4 月 1 日水道事業に統合 自家発電設備 5KVA	平成 15 年 4 月 1 日水道事業に統合 自家発電設備 5KVA

(8) ポンプ所

名 称	太陽の街ポンプ所
公 称 能 力	2,620 m ³ /日
竣 工 年 月	平成3年3月20日
事 業 費	81,000,000 円
敷 地 面 積	205.57 m ²
建 物	ポンプ室(RC 造) 1階 58.20 m ²
送 水 設 備	片吸込多段タービンポンプ2台 (MMK125/1) $\phi 125\text{mm}$ $H=35\text{m}$ $Q=1.82\text{ m}^3/\text{min}$ 1,800rpm 15 kW
契 約 電 力	低圧電力
計 装 設 備	送水流量計= $\phi 200\text{mm}$ 超音波流量計 (ポーターフロー)
遠方監視制御設備	中央-太陽の街 TL-500/TL-500 NTT 3.4KHZ 2,400bps
自 家 発 電 設 備	三相交流ディーゼル発電機 発電機 $3\phi 200\text{V}$ 45KVA 2P エンジン 62PS/3,600rpm 低騒音型 10秒以内自動起動

(9) ろ過池・浄水池

小 岐 須 ろ 過 池 (令和5年3月8日運用休止)	緩速ろ過池(RC 造) 12.8m×9.0m×2 池 ろ材厚 150mm 水深 900mm
-------------------------------	--

※休止施設を除く。

3 業務状況

(1) 水源の取水内訳

令和4年度

施設名	取水方法	施設数	公称能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	年間取水量 ($\text{m}^3/\text{年}$)	1日平均取水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)
平田水源	地下水	6	18,700	5,274,408	14,450
1号(北)	地下水	1	3,300	866,809	2,375
1号(南)	地下水	1	2,500	948,076	2,597
1号(予)	地下水	1	3,500	899,163	2,463
2号	地下水	1	4,300	1,122,303	3,075
2号(予)	地下水	1	3,000	935,539	2,563
3号	地下水	1	2,100	502,518	1,377
庄野水源	地下水	4	7,600	2,716,021	7,441
1号	地下水	1	900	173,104	474
2号	地下水	1	2,100	727,783	1,994
3号	地下水	1	2,300	941,919	2,581
4号	地下水	1	2,300	873,215	2,392
汲川原水源	地下水	3	10,400	2,152,539	5,897
1号	地下水	1	3,200	807,186	2,211
2号	地下水	1	3,500	1,029,960	2,822
3号	地下水	1	3,700	315,393	864
井田川水源	地下水	9	27,700	5,690,115	15,589
1号	地下水	1	2,900	503,164	1,379
2号	地下水	1	2,900	507,399	1,390
3号	地下水	1	2,300	573,807	1,572
4号	地下水	1	3,100	654,703	1,794
5号	地下水	1	3,700	760,797	2,084
6号	地下水	1	2,600	725,867	1,989
7号	地下水	1	3,700	822,357	2,253
8号	地下水	1	3,000	515,559	1,412
9号	地下水	1	3,500	626,462	1,716

施設名	取水方法	施設数	公称能力 (m ³ /日)	年間取水量 (m ³ /年)	1日平均取水量 (m ³ /日)
和泉水源	地下水	3	9,700	1,969,752	5,397
1号	地下水	1	2,500	578,813	1,586
2号	地下水	1	3,600	726,575	1,991
3号	地下水	1	3,600	664,364	1,820
河田水源	地下水	4	10,780	2,866,107	7,852
1号	地下水	1	1,700	818,011	2,241
2号	地下水	1	2,500	292,518	801
3号	地下水	1	2,800	571,786	1,567
4号	地下水	1	3,780	1,183,792	3,243
西富田水源	地下水	2	5,600	343,606	941
1号	地下水	1	2,800	173,104	474
2号	地下水	1	2,800	170,502	467
地下水計		31	90,480	21,012,548	57,569
山本水源	表流水	1	248	958	3
小岐須水源	表流水	1	324	50,244	138
自己水源計		33	91,052	21,063,750	57,709
木曾川用水系	受水	1	10,000	1,374,765	3,766
三重用水系	受水	1	6,600	1,808,402	4,955
長良川水系	受水	1	2,200	400,284	1,097
合計		36	109,852	24,647,201	67,527

※各計の1日平均取水量は、年間取水量を年間日数（365日）で割った値

※小岐須水源は、令和5年3月8日に運用休止

※令和3年度以前の休止施設を除く。

(2) 電力使用量及び電力料金の推移

区分 年月	電力量 (kWh)	電力料金 (円)	配水量1m ³ 当たり 電力料金 (円/m ³)
平成29年度	12,896,414	213,030,000	8.65
平成30年度	12,821,912	230,605,325	9.44
令和元年度	12,726,226	232,083,566	9.63
令和2年度	12,582,572	210,272,905	8.63
令和3年度	12,283,925	226,774,944	9.44
令和4年度	12,433,096	333,682,038	13.70
4 月	1,032,849	23,122,321	11.66
5 月	1,030,959	23,453,587	11.66
6 月	999,343	23,212,929	11.85
7 月	1,028,592	25,090,680	12.33
8 月	1,039,475	26,807,125	13.26
9 月	1,043,227	28,293,614	14.24
10 月	1,042,442	29,258,278	13.85
11 月	1,066,453	30,699,841	15.21
12 月	1,024,426	32,793,972	15.45
1 月	1,086,992	34,606,402	15.83
2 月	1,068,066	29,931,155	15.86
3 月	970,272	26,412,134	12.99
月平均	1,036,091	27,806,837	—
日平均	34,063	914,197	—

※水源施設，送水場，配水池等の電力使用量

(3) 薬品使用量の推移

区分 年月	次亜塩素酸ナトリウム							
	平田送水場	庄野送水場	平野送水場	河田送水場	広瀬送水場	鈴西送水場	長澤送水場	大久保第2配水池
平成29年度	25,971	8,970	24,008	27,173	1,392	97	516	191
平成30年度	28,447	8,700	25,203	21,825	1,155	110	441	204
令和元年度	27,423	9,799	26,287	22,256	1,192	51	233	151
令和2年度	26,953	9,141	26,978	21,525	1,307	66	299	167
令和3年度	26,228	9,136	26,370	18,418	1,172	—	—	157
令和4年度	28,234	8,892	26,893	18,406	1,328	—	—	225
4月	2,072	686	2,097	1,336	91	—	—	11
5月	2,150	778	2,144	1,448	108	—	—	15
6月	2,336	721	2,167	1,496	100	—	—	20
7月	2,436	764	2,303	1,617	121	—	—	23
8月	2,345	767	2,371	1,757	140	—	—	23
9月	2,461	799	2,245	1,745	109	—	—	30
10月	2,724	732	2,450	1,812	131	—	—	26
11月	2,508	720	2,304	1,609	111	—	—	24
12月	2,510	765	2,393	1,473	115	—	—	13
1月	2,504	730	2,224	1,552	110	—	—	18
2月	2,095	664	2,005	1,223	89	—	—	11
3月	2,093	766	2,190	1,338	103	—	—	11
月平均	2,353	741	2,241	1,534	111	—	—	19
日平均	77.35	24.36	73.68	50.43	3.64	—	—	0.62
1m ³ 当たり (g/m ³)	3.96	3.20	3.38	7.49	3.52	—	—	0.94

※月平均、日平均は、計を月数（12月）、年間日数（365日）で割った値

※1m³当たり（g/m³）

平田送水場：平田送水量（住吉）＋平田送水量（河田）で計算

河田送水場：河田送水量－平田送水量（河田）で計算

大久保第2配水池：大久保第1加圧水量で計算

椿一宮配水池：椿一宮受水量（三重用水）＋椿一宮受水量（長良川用水）で計算

庄内第1配水池：庄内第1取水量＋庄内第1受水量＋庄内第2受水量で計算

平田送水場PAC：平田送水量（住吉）＋平田送水量（河田）で計算

河田送水場PAC：河田送水量－平田送水量（河田）で計算

※鈴西送水場は、令和2年11月30日に運用休止

※長澤送水場及び庄内第1浄水池は、令和3年3月31日に運用休止

(単位 : kg)

次亜塩素酸ナトリウム						P A C		
椿配	一水宮池	山本配水池	小岐須第1,第2配水池	庄内第1浄水池	庄内第1配水池	計	平田送水場	河田送水場
	772	193	644	750	96	90,773	4,472	6,163
	929	221	648	760	126	88,769	4,497	6,272
	465	307	688	478	89	89,419	4,662	6,350
	683	600	644	141	182	88,686	4,679	6,409
	347	182	614	—	137	82,761	4,705	5,964
	781	10	501	—	157	85,427	4,804	5,158
	24	0	49	—	7	6,373	402	517
	46	0	54	—	11	6,754	413	560
	147	10	61	—	17	7,075	388	415
	85	0	67	—	23	7,439	398	287
	87	0	71	—	23	7,584	400	509
	118	0	74	—	24	7,605	395	328
	101	0	57	—	17	8,050	343	414
	52	0	46	—	12	7,386	384	408
	15	0	22	—	6	7,312	420	386
	33	0	0	—	8	7,179	437	486
	37	0	0	—	5	6,129	387	493
	36	0	0	—	4	6,541	437	355
	65	10	56	—	13	7,119	400	430
	2.14	0.03	1.37	—	0.43	234.05	13.16	14.13
	0.50	10.44	9.97	—	0.47	3.51	0.67	2.10

(4) 送水量の推移

区分 年月	送 水 量						
	平田系	庄野系	平野系	河田系	広瀬系	鈴西系	長澤系
平成29年度	5,598,570	2,868,758	7,525,769	4,569,795	352,856	29,513	178,029
平成30年度	5,493,651	2,844,121	7,594,492	4,477,518	351,504	34,807	145,430
令和元年度	5,077,048	2,832,598	7,822,746	4,456,172	358,353	15,859	38,788
令和2年度	5,229,047	2,748,330	7,973,847	4,402,374	373,462	20,365	89,814
令和3年度	4,985,399	2,761,131	7,961,967	4,338,280	348,701	—	—
令和4年度	5,411,609	2,777,360	7,964,537	4,181,782	377,779	—	—
4月	408,737	227,094	670,627	350,909	28,775	—	—
5月	416,522	234,814	662,980	354,766	30,939	—	—
6月	413,404	227,772	643,317	345,597	30,698	—	—
7月	446,412	234,226	657,870	353,494	31,608	—	—
8月	427,214	238,992	658,034	348,426	32,464	—	—
9月	449,733	234,690	640,356	336,622	30,463	—	—
10月	505,613	235,011	673,115	356,482	31,882	—	—
11月	469,186	227,215	654,606	340,314	30,766	—	—
12月	503,467	235,708	682,674	356,903	32,691	—	—
1月	538,853	239,747	694,125	361,673	34,353	—	—
2月	409,342	209,884	634,400	326,113	30,653	—	—
3月	423,126	232,207	692,433	350,483	32,487	—	—
月平均	450,967	231,447	663,711	348,482	31,482	—	—
日平均	14,826	7,609	21,821	11,457	1,035	—	—

※月平均、日平均は、計を月数（12月）、年間日数（365日）で割った値

※鈴西送水場は、令和2年11月30日に運用休止

※長澤送水場及び庄内第1浄水池は、令和3年3月31日に運用休止

(単位：m³)

送 水 量							配 水 量
山本系	小岐須系	庄内系	木曽川用水系	三重用水系	長良川水系	計	
25,107	71,936	64,366	1,318,884	1,594,239	394,853	24,592,675	24,630,545
19,946	72,978	66,544	1,317,684	1,569,703	399,348	24,387,726	24,420,498
33,242	68,997	35,099	1,225,169	1,725,915	400,437	24,090,423	24,106,567
56,098	73,658	14,292	1,317,764	1,665,259	400,283	24,364,593	24,379,386
17,352	69,019	—	1,323,935	1,793,745	399,931	23,999,460	24,023,250
958	50,244	—	1,374,765	1,808,402	400,284	24,347,720	24,358,492
0	5,687	—	111,506	146,074	32,614	1,982,023	1,983,671
40	5,998	—	116,348	152,744	33,654	2,008,805	2,011,758
918	5,799	—	111,442	145,997	32,941	1,957,885	1,958,660
0	6,187	—	118,477	151,575	33,632	2,033,481	2,035,486
0	6,245	—	123,928	150,706	33,684	2,019,693	2,021,848
0	5,871	—	110,810	143,910	32,622	1,985,077	1,986,992
0	6,044	—	114,738	153,789	33,648	2,110,322	2,112,304
0	5,738	—	109,987	146,920	32,618	2,017,350	2,018,453
0	2,675	—	116,430	154,550	33,850	2,118,948	2,122,123
0	0	—	119,109	163,053	37,237	2,188,150	2,186,144
0	0	—	106,263	145,896	29,874	1,892,425	1,887,445
0	0	—	115,727	153,188	33,910	2,033,561	2,033,608
80	4,187	—	114,564	150,700	33,357	2,028,977	2,029,874
3	138	—	3,766	4,955	1,097	66,706	66,736

(5) 配水量の推移

区分 年月	配水量 (m ³ /年)	1日平均配水量 (m ³ /日)	1日最大配水量 (m ³ /日)
平成29年度	24,630,545	67,481	73,970
平成30年度	24,420,498	66,905	74,126
令和元年度	24,106,567	65,865	71,354
令和2年度	24,379,386	66,793	72,725
令和3年度	24,023,250	65,817	69,912
令和4年度	24,358,492	66,736	86,910
4月	1,983,671	66,122	68,781
5月	2,011,758	64,895	67,857
6月	1,958,660	65,289	68,766
7月	2,035,486	65,661	70,495
8月	2,021,848	65,221	69,557
9月	1,986,992	66,233	71,644
10月	2,112,304	68,139	73,172
11月	2,018,453	67,282	72,757
12月	2,122,123	68,456	72,618
1月	2,186,144	70,521	86,910
2月	1,887,445	67,409	72,487
3月	2,033,608	65,600	67,662
増加量	335,242	918	16,998
増加率 (%)	1.40	1.40	24.31

(6) 給水状況の推移

年 度 項 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
行政区域内人口（人）	200,435	199,948	199,488	198,353	196,919	195,958
給水区域内人口（人）	200,435	199,948	199,488	198,353	196,919	195,958
水道普及率（％）	99.89	99.90	99.90	99.90	99.90	99.90
給水人口（人）	200,217	199,745	199,289	198,166	196,732	195,788
給水戸数（戸）	85,098	86,055	86,950	87,475	87,595	88,469
配水量（千 m^3 /年）	24,631	24,420	24,106	24,379	24,023	24,358
有収水量（千 m^3 /年）	22,533	22,461	22,078	22,426	22,162	21,865
有効率（％）	95.32	95.92	95.43	96.17	97.41	95.41
有収率（％）	91.48	91.98	91.59	91.99	92.25	89.76
給水原価（円/ m^3 ） [税込]	148.22	154.39	144.16	145.91	147.59	156.57
供給単価（円/ m^3 ） [税込]	164.09	179.42	182.95	183.64	183.59	184.27
施設能力（ m^3 /日）	113,900	113,900	113,900	113,900	112,552	109,852
1日平均配水量（ m^3 ）	67,481	66,905	65,865	66,793	65,817	66,736
1日最大配水量（ m^3 ）	73,970	74,126	71,354	72,725	69,912	86,910

(7) 給水栓数

令和5年3月31日現在

ア 口径別

口径 (mm)	栓 数
φ13	39,616
φ20	43,200
φ25	3,595
φ40	669
φ50	228
φ75	50
φ100	25
φ150	4
φ200	1
φ300	1
計	87,389

イ 地区別

地区名	栓 数	地区名	栓 数
国 府	5,554	神 戸	2,395
庄 野	2,033	栄	4,859
加佐登	1,926	天 名	606
牧 田	6,936	合 川	628
石薬師	2,322	井田川	808
白 子	13,675	久間田	776
稲 生	5,288	椿	567
飯 野	7,713	深伊沢	698
河 曲	4,266	鈴 峰	1,236
一ノ宮	6,571	庄 内	773
箕 田	1,972	その他	9
玉 垣	12,436		
若 松	3,342	計	87,389

ウ 用途別

	栓 数
一般家庭用 (集合住宅を含む。)	83,026
官公署・学校用	703
営 業 用	3,567
湯屋・プール用	18
工 業 用	74
臨 時 用	1
計	87,389

(8) 水道メーターの設置状況

令和5年3月31日現在

(単位：個)

口径(mm) \ 区分	直 読 式	隔 測 式	計
φ13	44,001	168	44,169
φ20	45,246	386	45,632
φ25	3,940	5	3,945
φ40	629	78	707
φ50	20	231	251
φ75	1	61	62
φ100	0	31	31
φ150	0	5	5
φ200	0	1	1
φ300	0	1	1
計	93,837	967	94,804

(9) 水道メーターの新規設置及び取替件数と検針業務状況

(単位：件)

区分 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新 規 設 置	855	986	1,002
定 期 取 替	8,719	12,543	11,570
定期以外取替	297	351	446
検 針 数	522,342	525,410	529,069

(10) 給水工事件数

(単位：件)

区分 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
給 水 工 事	518	512	574
承 認 工 事	1,100	1,254	1,235
計	1,618	1,766	1,809

(11) 導水管延長

令和5年3月31日現在
(単位：m)

管種 口径(mm)	ライニング 鋼管	ステンレス 鋼管	硬質塩化 ビニール 管(V)	耐衝撃性 塩化ビニール管	ポリエチ レン管	水道配水用 ポリエチレン (H P P E)	耐震補強 ダクタイル 鋳鉄管	耐震性 ダクタイル 鋳鉄管	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	計
φ75											
φ100	1,306.0			540.0	426.6			10.0	1,121.5		3,404.1
φ125	14.2										14.2
φ150	116.4				31.5				199.1		347.0
φ200							10.0	649.9	266.4		926.3
φ250							4.0	1,017.0	1,686.6		2,707.6
φ300								485.0	1,445.9		1,930.9
φ350	333.1							2,304.7	425.6		3,063.4
φ400								2,486.5	66.9		2,553.4
φ450											
φ500								770.1			770.1
φ600		8.0						519.0			527.0
φ700											
計	1,769.7	8.0		540.0	458.1		14.0	8,242.2	5,212.0		16,244.0

(12) 送水管延長

令和5年3月31日現在
(単位：m)

管種 口径(mm)	ライニング 鋼管	ステンレス 鋼管	硬質塩化 ビニール 管(V)	耐衝撃性 塩化ビニール管	ポリエチ レン管	水道配水用 ポリエチレン (H P P E)	耐震補強 ダクタイル 鋳鉄管	耐震性 ダクタイル 鋳鉄管	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	計
φ40～50				26.9							26.9
φ75								19.2	23.5		42.7
φ100				2.9					2.7		5.6
φ125	12.7										12.7
φ150							1,333.6	475.3	489.7		2,298.6
φ200				240.2					1,174.8	11.9	1,426.9
φ250									785.4		785.4
φ300								158.8	632.4		791.2
φ350											
φ400									8.8		8.8
φ450											
φ500	16.8							9,246.1	5,535.3		14,798.2
φ600								1,149.1	1,676.0		2,825.1
φ700	16.5							17.3	1,362.9		1,396.7
φ800	2,597.0								0.6		2,597.6
計	2,643.0			270.0			1,333.6	11,065.8	11,692.1	11.9	27,016.4

(13) 配水管延長

令和5年3月31日現在
(単位：m)

管種 口径(mm)	ライニング 鋼管	ステンレス 管	硬質塩化 ビニール管 (V)	耐衝撃性 硬質塩化 ビニール管	ポリエチ レン管	水道配水用 ポリエチ レン管 (H P P E)	耐震補強 ダクタイル 鋳鉄管	耐震性 ダクタイル 鋳鉄管	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	計
φ20～50	18,708.1	40.1	79,730.4	310,210.7	356.0	57,509.7			1,216.0		467,771.0
φ75	302.3	32.9	3,178.6	1,281.1		1,326.7	22.6	5,965.3	67,122.4	305.4	79,537.3
φ100	703.0	161.1	4,641.0	934.7			1,399.2	29,254.4	353,496.0	81.2	390,670.6
φ125											
φ150	219.3	285.7					2,715.4	22,611.0	133,096.3	128.1	159,055.8
φ200	620.4	388.8					1,465.7	5,713.0	69,177.2	33.6	77,398.7
φ250	438.6	133.8					826.3	3,624.7	27,735.8	37.0	32,796.2
φ300	409.0	47.5					1,283.2	6,995.7	28,617.9	29.0	37,382.3
φ350	97.9	330.7						940.1	15,019.1		16,387.8
φ400	118.8	243.9						49.4	6,542.9		6,955.0
φ450	62.4							139.2	3,762.1		3,963.7
φ500	20.4							10,383.2	9,013.5		19,417.1
φ600	2.6							131.0	2,479.9		2,613.5
φ700	25.9							3,146.7	8,711.1		11,883.7
φ800	708.5								472.7		1,181.2
φ900									67.3		67.3
φ1000	445.4								95.3		540.7
計	22,882.6	1,664.5	87,550.0	312,426.5	356.0	58,836.4	7,712.4	88,953.7	726,625.5	614.3	1,307,621.9

(14) 水質試験件数

(単位：件)

区分 月	一般性状等 試 験	微 生 物 試 験	イオン類 試 験	金 属 類 試 験	揮発性有機化合物 試 験	消毒副生成物 その他 試 験	合 計
4 月	34	49	34	18	13	58	206
5 月	34	50	34	20	10	53	201
6 月	36	55	36	17	11	57	212
7 月	34	54	34	19	9	58	208
8 月	34	50	34	20	16	53	207
9 月	36	54	36	16	10	58	210
10月	34	51	34	19	9	58	205
11月	34	50	34	20	16	53	207
12月	34	49	34	15	5	57	194
1 月	34	49	34	19	15	58	209
2 月	34	49	34	20	10	53	200
3 月	34	44	34	15	5	57	189
合 計	412	604	412	218	129	673	2,448

(15) 水質検査成績表
ア 送水場，配水池

採水場所				平田送水場	庄野送水場	平野送水場	河田送水場	広瀬送水場	高岡配水池	
項目及び基準値										
健康に関する項目	細菌	1	一般細菌 100個/ml以下	最高 最低 平均	0 － 0	0 － 0	0 － 0	0 － 0	0 － 0	
		2	大腸菌 検出されないこと	最高	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
	無機物質・重金属	3	カドミウム及びその化合物 0.003mg/l以下	最高	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
		4	水銀及びその化合物 0.0005mg/l以下	最高	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満
		5	セレン及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		6	鉛及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		7	ヒ素及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		8	六価クロム化合物 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		9	亜硝酸態窒素 0.04mg/l以下	最高	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
		10	シアン化物イオン及び塩化シアン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 10mg/l以下	最高 最低 平均	1.24 1.08 1.18	1.50 1.24 1.37	1.18 0.95 1.09	1.05 0.87 0.99	1.14 1.00 1.05	0.85 0.66 0.79
		12	フッ素及びその化合物 0.8mg/l以下	最高	0.08未満	0.09	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満
		13	ホウ素及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	一般有機物質	14	四塩化炭素 0.002mg/l以下	最高	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
		15	1,4-ジオキサン 0.05mg/l以下	最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
		16	シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン 0.04mg/l以下	最高	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
		17	ジクロロメタン 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		18	テトラクロロエチレン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		19	トリクロロエチレン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		20	ベンゼン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		21	塩素酸 0.6mg/l以下	最高	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.08	0.06未満	0.09
		22	クロロ酢酸 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		23	クロロホルム 0.06mg/l以下	最高	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満
	消毒生成物	24	ジクロロ酢酸 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
		25	ジブロモクロロメタン 0.1mg/l以下	最高	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
		26	臭素酸 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		27	総トリハロメタン 0.1mg/l以下	最高 最低 平均	0.01未満 － 0.01未満	0.01未満 － 0.01未満	0.01未満 － 0.01未満	0.01未満 － 0.01未満	0.01未満 － 0.01未満	0.01 0.01未満 0.01未満
		28	トリクロロ酢酸 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
		29	ブロモジクロロメタン 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
		30	ブロモホルム 0.09mg/l以下	最高	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満
		31	ホルムアルデヒド 0.08mg/l以下	最高	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満

採水場所				平田送水場	庄野送水場	平野送水場	河田送水場	広瀬送水場	高岡配水池				
項目及び基準値													
水道水	色	32	亜鉛及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満			
		33	アルミニウム及びその化合物 0.2mg/l以下	最高	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.02			
		34	鉄及びその化合物 0.3mg/l以下	最高	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満			
				最低	-	-	-	-	-	-			
		35	銅及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満			
水	味	36	ナトリウム及びその化合物 200mg/l以下	平均	11.7	12.7	10.4	12.0	9.1	10.7			
有すべき性質に關連する基礎的項目	色	37	マンガン及びその化合物 0.05mg/l以下	最高	0.001未満	0.002	0.003	0.001未満	0.001未満	0.001未満			
				最低	-	0.002	0.002	-	-	-			
				平均	0.001未満	0.002	0.003	0.001未満	0.001未満	0.001未満			
	味	38	塩化物イオン 200mg/l以下	最高	17.4	21.9	17.2	15.0	11.7	12.8			
				最低	11.4	10.4	8.9	12.7	8.9	10.9			
				平均	14.1	15.2	12.4	13.7	9.9	11.8			
	覚	39	カルシウム、マグネシウム等 (硬度) 300mg/l以下	最高	53.6	57.8	62.7	53.4	61.4	46.9			
				最低	47.1	42.7	51.3	50.1	55.6	42.6			
				平均	50.1	49.5	56.4	52.1	58.2	44.0			
	40	蒸発残留物 500mg/l以下	平均	98	93	101	99	95	93				
発泡	41	陰イオン界面活性剤 0.2mg/l以下	最高	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満				
におい	42	ジェオスミン 0.00001mg/l以下	最高	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	-				
	43	2-メチルイソボルネオール 0.00001mg/l以下	最高	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	-				
発泡	44	非イオン界面活性剤 0.02mg/l以下	最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満				
有すべき性質に關連する基礎的項目	におい	45	フェノール類 0.005mg/l以下	最高	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満			
				味	46	有機物 (全有機炭素ＴＯＣの量) 3mg/l以下	最高	0.25	0.20	0.19	0.27	0.16	0.48
							最低	0.17	0.15	0.14	0.18	0.10	0.28
	平均	0.20	0.18	0.16	0.20	0.12	0.35						
	基礎的	47	pH値 5.8～8.6	最高	7.8	7.6	7.6	7.5	7.2	7.6			
				最低	7.4	7.1	7.4	7.0	6.6	7.4			
				平均	7.7	7.5	7.6	7.3	6.9	7.5			
	48	味 異常でないこと	最高	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし				
	49	臭気 異常でないこと	最高	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし				
	性状	50	色度 5度以下	最高	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満			
最低				-	-	-	-	-	-				
平均				0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満				
51	濁度 2度以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満					
		最低	-	-	-	-	-	-					
		平均	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満					
規則第15条 第1項 第1号	残留塩素	最高	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3					
		最低	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3					
		平均	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3					

イ 給水栓

項目及び基準値			採水場所	玉垣地区 市民センター	鼓ヶ浦公民館	太陽の街 中央公園	合川地区 市民センター	庄野地区 市民センター	牧田地区 市民センター	南玉垣町 一色公園
健康に 関する 物質 項目	細菌	1 一般細菌 100個/ml以下	最高 最低 平均	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0
		2 大腸菌 検出されないこと	最高	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
	無機 物質 ・ 重金 属	3 カドミウム及びその化合物 0.003mg/l以下	最高	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
		4 水銀及びその化合物 0.0005mg/l以下	最高	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満
		5 セレン及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		6 鉛及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		7 ヒ素及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		8 六価クロム化合物 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		9 亜硝酸態窒素 0.04mg/l以下	最高	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
		10 シアン化物イオン及び塩化シアン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 10mg/l以下	最高 最低 平均	1.33 1.19 1.25	1.29 1.17 1.24	1.33 1.20 1.26	1.24 0.93 1.13	1.25 0.94 1.12	1.28 0.94 1.14	1.23 0.93 1.12
		12 フッ素及びその化合物 0.8mg/l以下	最高	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満
		13 ホウ素及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	一 般 有 機 化 学 物 質	14 四塩化炭素 0.002mg/l以下	最高	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
		15 1,4-ジオキサン 0.05mg/l以下	最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
		16 シス及びトランス- 1,2-ジクロロエチレン 0.04mg/l以下	最高	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
		17 ジクロロメタン 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		18 テトラクロロエチレン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		19 トリクロロエチレン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		20 ベンゼン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
	消 毒 副 生 成 物	21 塩素酸 0.6mg/l以下	最高	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満
		22 クロロ酢酸 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		23 クロロホルム 0.06mg/l以下	最高	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満
		24 ジクロロ酢酸 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
		25 ジブロモクロロメタン 0.1mg/l以下	最高	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
		26 臭素酸 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		27 総トリハロメタン 0.1mg/l以下	最高 最低 平均	0.01未満 - 0.01未満	0.01未満 - 0.01未満	0.01未満 - 0.01未満	0.01未満 - 0.01未満	0.01未満 - 0.01未満	0.01未満 - 0.01未満	0.01未満 - 0.01未満
		28 トリクロロ酢酸 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
		29 ブロモジクロロメタン 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
		30 ブロモホルム 0.09mg/l以下	最高	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満
		31 ホルムアルデヒド 0.08mg/l以下	最高	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満

採水場所				玉垣地区 市民センター	鼓ヶ浦公民館	太陽の街 中央公園	合川地区 市民センター	庄野地区 市民センター	牧田地区 市民センター	南玉垣町 一色公園	
項目及び基準値											
水道水	色	32	亜鉛及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
		33	アルミニウム及びその化合物 0.2mg/l以下	最高	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
		34	鉄及びその化合物 0.3mg/l以下	最高	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	
				最低	－	－	－	－	－	－	
水	味	35	銅及びその化合物 1.0mg/l以下	平均	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	
				最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
		36	ナトリウム及びその化合物 200mg/l以下	平均	12.3	12.1	12.3	11.0	10.7	10.9	
		が有酸素性	色	37	マンガン及びその化合物 0.05mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.002
最低	－					－	－	－	0.001	0.001未満	0.001未満
38	塩化物イオン 200mg/l以下			平均	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001	0.001未満	0.001
				最高	18.9	19.1	19.0	19.1	18.6	19.8	18.7
すべき	味覚	39	カルシウム、マグネシウム等 (硬度) 300mg/l以下	最低	11.2	11.2	11.2	8.8	8.7	8.6	9.0
				平均	14.7	14.5	14.7	13.0	12.9	13.2	12.9
		40	蒸発残留物 500mg/l以下	最高	54.8	55.5	55.4	62.8	62.6	62.6	63.0
				最低	46.1	46.1	46.3	49.3	48.5	47.5	49.8
関連項目	におい	41	陰イオン界面活性剤 0.2mg/l以下	平均	50.6	50.4	50.9	55.2	55.1	54.2	55.0
				最高	102	104	109	105	102	102	99
		42	ジェオスミン 0.00001mg/l以下	平均	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
				最高	－	－	－	－	－	－	－
基礎的項目	におい	43	2-メチルイソボルネオール 0.00001mg/l以下	最高	－	－	－	－	－	－	
				最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
		44	非イオン界面活性剤 0.02mg/l以下	最高	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
				最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
基礎的項目	味覚	45	フェノール類 0.005mg/l以下	最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
				最高	0.33	0.25	0.22	0.20	0.22	0.21	0.20
		46	有機物 (全有機炭素ＴＯＣの量) 3mg/l以下	最低	0.16	0.16	0.17	0.16	0.15	0.15	0.15
				平均	0.21	0.19	0.20	0.18	0.18	0.18	0.17
基礎的項目	におい	47	pH値 5.8～8.6	最高	7.7	7.7	7.9	7.9	7.7	7.7	7.6
				最低	7.1	7.3	7.5	7.4	7.3	7.3	7.1
		48	味 異常でないこと	平均	7.6	7.6	7.7	7.6	7.6	7.6	7.5
				最高	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
基礎的項目	におい	49	臭気 異常でないこと	最高	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
				最高	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
		50	色度 5度以下	最低	－	－	－	－	－	－	－
				平均	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
基礎的項目	におい	51	濁度 2度以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
				最低	－	－	－	－	－	－	－
		規則第15条 第1項 第1号	残留塩素 0.1mg/l以上	平均	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
				最高	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
規則第15条 第1項 第1号	残留塩素 0.1mg/l以上	最低	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2		
		平均	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		

項目及び基準値			採水場所	上田町地内	長太公民館	若松地区 市民センター	鈴峰地区 市民センター	加佐登地区 市民センター	石薬師地区 市民センター	大久保公園
健康に 関する 化学物質 項目	細菌	1 一般細菌 100個/ml以下	最高 最低 平均	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0
		2 大腸菌 検出されないこと	最高	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
	無機物・重金属	3 カドミウム及びその化合物 0.003mg/l以下	最高	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
		4 水銀及びその化合物 0.0005mg/l以下	最高	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満
		5 セレン及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		6 鉛及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		7 ヒ素及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		8 六価クロム化合物 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		9 亜硝酸態窒素 0.04mg/l以下	最高	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
		10 シアン化物イオン及び塩化シアン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 10mg/l以下	最高 最低 平均	1.14 0.99 1.07	0.92 0.65 0.81	0.91 0.67 0.81	0.5未満 - 0.5未満	0.5未満 - 0.5未満	0.5未満 - 0.5未満	0.5未満 - 0.5未満
		12 フッ素及びその化合物 0.8mg/l以下	最高	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満
		13 ホウ素及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	一般有機化学物質	14 四塩化炭素 0.002mg/l以下	最高	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
		15 1,4-ジオキサン 0.05mg/l以下	最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
		16 シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン 0.04mg/l以下	最高	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
		17 ジクロロメタン 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		18 テトラクロロエチレン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		19 トリクロロエチレン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		20 ベンゼン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		21 塩素酸 0.6mg/l以下	最高	0.06未満	0.09	0.10	0.09	0.11	0.12	0.13
		22 クロロ酢酸 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		23 クロロホルム 0.06mg/l以下	最高	0.006未満	0.006未満	0.007	0.012	0.014	0.025	0.014
	消毒副生成物	24 ジクロロ酢酸 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
		25 ジブロモクロロメタン 0.1mg/l以下	最高	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
		26 臭素酸 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		27 総トリハロメタン 0.1mg/l以下	最高 最低 平均	0.01未満 - 0.01未満	0.01未満 - 0.01未満	0.01 0.01未満 0.01未満	0.02 0.01未満 0.01	0.02 0.01 0.02	0.03 0.01 0.02	0.02 0.01未満 0.01
		28 トリクロロ酢酸 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.004	0.006	0.007	0.010	0.006
		29 ブロモジクロロメタン 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.005	0.005	0.007	0.006
		30 ブロモホルム 0.09mg/l以下	最高	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満
		31 ホルムアルデヒド 0.08mg/l以下	最高	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満

採水場所				上田町地内	長太公民館	若松地区 市民センター	鈴峰地区 市民センター	加佐登地区 市民センター	石薬師地区 市民センター	大久保公園	
項目及び基準値											
水道	色	32	亜鉛及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
		33	アルミニウム及びその化合物 0.2mg/l以下	最高	0.01未満	0.01	0.02	0.06	0.06	0.06	
		34	鉄及びその化合物 0.3mg/l以下	最高	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満
				最低	-	-	-	-	-	-	-
		35	銅及びその化合物 1.0mg/l以下	平均	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満
水	味	36	ナトリウム及びその化合物 200mg/l以下	平均	9.2	10.9	10.9	3.6	4.6	4.7	3.7
が	色	37	マンガン及びその化合物 0.05mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
				最低	-	-	-	-	-	-	-
		38	塩化物イオン 200mg/l以下	平均	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
				最高	12.2	12.8	12.7	6.0	6.7	6.7	6.0
				最低	8.8	11.3	11.2	5.3	5.5	5.5	5.4
有	味	39	カルシウム、マグネシウム等 (硬度) 300mg/l以下	平均	10.1	12.1	12.0	5.7	6.1	6.1	5.6
				最高	63.3	47.0	46.7	45.4	41.2	41.3	44.8
		40	蒸発残留物 500mg/l以下	最低	56.5	44.1	43.8	31.2	27.8	31.8	29.4
				平均	59.1	45.5	45.1	39.6	35.0	36.5	38.6
		き	発泡	41	陰イオン界面活性剤 0.2mg/l以下	平均	103	96	95	53	51
最高	0.02未満			0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	
42	ジェオスミン 0.00001mg/l以下			最高	-	0.000003	0.000002	0.000002	0.000004	0.000004	0.000002
				最低	-	-	-	-	-	-	-
43	2-メチルイソボルネオール 0.00001mg/l以下			最高	-	0.000001未満	0.000001未満	0.000001	0.000001	0.000001	0.000001
に	発泡	44	非イオン界面活性剤 0.02mg/l以下	最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
		45	フェノール類 0.005mg/l以下	最高	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
				最低	-	-	-	-	-	-	-
		46	有機物 (全有機炭素ＴＯＣの量) 3mg/l以下	最高	0.15	0.43	0.39	0.68	0.72	0.69	0.66
				最低	0.10	0.26	0.28	0.54	0.54	0.58	0.55
連	覚	47	pH値 5.8～8.6	平均	0.13	0.32	0.32	0.62	0.64	0.63	0.61
				最高	7.2	7.6	7.5	7.7	7.8	7.7	7.7
		48	味 異常でないこと	最低	6.6	7.3	7.1	7.4	7.4	7.2	7.1
				平均	6.9	7.5	7.4	7.6	7.7	7.5	7.5
		49	臭気 異常でないこと	最高	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
目	性	50	色度 5度以下	最高	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
				最低	-	-	-	-	-	-	-
		51	濁度 2度以下	平均	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
				最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
		最低	-	-	-	-	-	-	-		
規則第15条	第1項	第1号	残留塩素 0.1mg/l以上	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
				最低	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
				平均	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3
第1号				最高	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	
				最低	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3
				平均	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4

項目及び基準値			採水場所	樺地区 市民センター	小社公園	庄内公園	原公園
健康に関する項目	細菌	1 一般細菌	最高 最低 平均	0 － 0	0 － 0	0 － 0	0 － 0
		100個/ml以下					
	2 大腸菌	検出されないこと	最高	陰性	陰性	陰性	陰性
	無機物質・重金属	3 カドミウム及びその化合物 0.003mg/l以下	最高	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
		4 水銀及びその化合物 0.0005mg/l以下	最高	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満
		5 セレン及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		6 鉛及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		7 ヒ素及びその化合物 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.002	0.001未満	0.001未満
		8 六価クロム化合物 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		9 亜硝酸態窒素 0.04mg/l以下	最高	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
		10 シアン化物イオン及び塩化シアン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 10mg/l以下	最高 最低 平均	0.5未満 － 0.5未満	0.64 0.5未満 0.5未満	0.5未満 － 0.5未満	0.5未満 － 0.5未満
		12 フッ素及びその化合物 0.8mg/l以下	最高	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満
		13 ホウ素及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	一般有機化学物質	14 四塩化炭素 0.002mg/l以下	最高	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
		15 1,4-ジオキサン 0.05mg/l以下	最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
		16 シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン 0.04mg/l以下	最高	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
		17 ジクロロメタン 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		18 テトラクロロエチレン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		19 トリクロロエチレン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		20 ベンゼン 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		21 塩素酸 0.6mg/l以下	最高	0.12	0.07	0.15	0.14
		22 クロロ酢酸 0.02mg/l以下	最高	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		23 クロロホルム 0.06mg/l以下	最高	0.016	0.006	0.015	0.015
	消毒副生成物	24 ジクロロ酢酸 0.03mg/l以下	最高	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
		25 ジブロモクロロメタン 0.1mg/l以下	最高	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
		26 臭素酸 0.01mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		27 総トリハロメタン 0.1mg/l以下	最高 最低 平均	0.02 0.01 0.02	0.01 0.01未満 0.01未満	0.02 0.01 0.02	0.02 0.01 0.02
		28 トリクロロ酢酸 0.03mg/l以下	最高	0.006	0.004	0.006	0.006
		29 ブロモジクロロメタン 0.03mg/l以下	最高	0.006	0.004	0.006	0.006
		30 ブロモホルム 0.09mg/l以下	最高	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満
		31 ホルムアルデヒド 0.08mg/l以下	最高	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満

項目及び基準値				採水場所	樺地区 市民センター	小社公園	庄内公園	原公園
水道水	色	32	亜鉛及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
		33	アルミニウム及びその化合物 0.2mg/l以下	最高	0.06	0.03	0.06	0.06
		34	鉄及びその化合物 0.3mg/l以下	最高	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満
				最低	-	-	-	-
		35	銅及びその化合物 1.0mg/l以下	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
水	味	36	ナトリウム及びその化合物 200mg/l以下	平均	3.8	4.6	3.8	3.7
		色	37	マンガン及びその化合物 0.05mg/l以下	最高	0.001未満	0.001未満	0.001未満
最低	-				-	-	-	
有酸素性	味	38	塩化物イオン 200mg/l以下	最高	6.1	5.8	6.1	6.0
				最低	5.3	3.3	5.5	5.6
				平均	5.7	4.1	5.8	5.7
		39	カルシウム、マグネシウム等 (硬度) 300mg/l以下	最高	45.3	60.1	45.4	45.3
				最低	34.7	35.6	34.7	30.0
40	蒸発残留物 500mg/l以下	平均	39.9	48.8	39.8	39.4		
関連する基礎的項目	発泡性におい	41	陰イオン界面活性剤 0.2mg/l以下	最高	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
		42	ジェオスミン 0.00001mg/l以下	最高	0.000002	0.000002	0.000002	0.000002
		43	2-メチルイソボルネオール 0.00001mg/l以下	最高	0.000001未満	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
		44	非イオン界面活性剤 0.02mg/l以下	最高	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
		45	フェノール類 0.005mg/l以下	最高	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
連関する基礎的項目	味覚	46	有機物 (全有機炭素ＴＯＣの量) 3mg/l以下	最高	0.66	0.66	0.67	0.66
				最低	0.55	0.24	0.56	0.54
				平均	0.61	0.41	0.62	0.60
		47	pH値 5.8～8.6	最高	7.8	8.0	7.8	7.8
				最低	7.4	7.4	7.5	7.1
48	味 異常でないこと	最高	7.7	7.7	7.7	7.5		
基礎的項目	臭気	49	臭気 異常でないこと	最高	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
				最低	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
				平均	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
		50	色度 5度以下	最高	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
				最低	-	-	-	-
51	濁度 2度以下	平均	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満		
規則第15条 第1項 第1号	残留塩素 0.1mg/l以上	最高	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満		
		最低	-	-	-	-		
		平均	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満		
規則第15条 第1項 第1号	残留塩素 0.1mg/l以上	最高	0.3	0.3	0.3	0.3		
		最低	0.2	0.2	0.3	0.2		
		平均	0.3	0.3	0.3	0.3		

(16) 漏水発生状況

月別漏水箇所発生状況

(単位：件)

年月 種別	令和4年									令和5年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
配水管		1	2		1	1	1	2		2	2	3	15
制水弁						1							1
空気弁	1									1	1	1	4
消火栓													
給水管	18	7	18	10	22	14	17	8	7	9	13	7	150
計	19	8	20	10	23	16	18	10	7	12	16	11	170

(17) 漏水発生の分類

ア 配水管

(ア) 材質・口径別分類

(単位：件)

材質 \ 口径 (mm)	φ 25	φ 30	φ 40	φ 50	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 350	計
ダクタイル鋳鉄管					1	3					4
対衝撃性硬質塩化ビニル管											
硬質塩化ビニル管				6	1						7
ライニング鋼管						1	2			1	4
ステンレス鋼管											
ポリエチレン管											
計				6	2	4	2			1	15

(イ) 原因分類

(単位：件)

材質 \ 原因	(カラー)パッキン	水撃圧亀裂	腐食老化	荷重折れ	継手割れ	計
ダクタイル鋳鉄管	3		1			4
対衝撃性硬質塩化ビニル管						
硬質塩化ビニル管		1			6	7
ライニング鋼管			4			4
ステンレス鋼管						
ポリエチレン管						
計	3	1	5		6	15

イ 給水管

(単位：件)

箇所	直管	止水栓	分水栓	継手	不良	計
件数	13	28		80	29	150

(18) 水道料金の変遷（税抜）

① 昭和23年 5月29日 鈴鹿市水道使用条例制定

栓 種	用途 及び 種 別	最低料金（1 か月につき）		超過料金 （円）	設備料 （円）
		水量・人口	料金（円）		
専 用 栓	普 通 用	10m ³	20	（1 m ³ につき） 2	（1 栓につき） 2
	湯 屋 用	100m ³	150	2	2
	量水器のないもの	5人	20	（1 人増すごと） 4	2
		（共同栓使用者） 5人	15	4	2
共用栓	量水器のないもの	5人	10	4	（1 戸につき） 1
特 設 栓	官 公 署 ・ 学 校 公 共 用 団 体	50m ³	100	（1 m ³ につき） 4	（1 栓につき） 2
	会社その他営業用	10m ³	30	4	2
	私 設 浴 場	－	10	－	2
消火栓	消 火 演 習 の た め	－	－	（15分ごと） 5	－

量水器使用料	
口径 （mm以下）	料金 （円）
13	10
16	15
20	18
25	22
50	30

② 昭和23年 6月30日 改正

栓 種	用途 及び 種 別	最低料金（1 か月につき）		超過料金 （円）	設備料 （円）
		水量・人口	料金（円）		
専 用 栓	普 通 用	10m ³	40	（1 m ³ につき） 5	（1 栓につき） 8
	湯 屋 用	100m ³	350	4	8
	量水器のないもの	5人	40	（1 人増すごと） 10	8
		（共同栓使用者） 5人	35	10	8
共用栓	量水器のないもの	5人	30	8	（1 戸につき） 4
特 設 栓	官 公 署 ・ 学 校 公 共 用 団 体	20m ³	80	（1 m ³ につき） 5	（1 栓につき） 8
	会社その他営業用	20m ³	120	8	8
	私 設 浴 場 用	10m ³	50	5	8
消火栓	消 火 演 習 用	－	－	（15分ごと） 5	－

量水器使用料	
口径 （mm以下）	料金 （円）
13	10
16	15
20	18
25	22
50	30

③ 昭和25年 4 月24日改正

栓 種	用 途 及 び 種 別	最低料金（1 か月につき）		超過料金 （円）	設備料 （円）	量水器使用料	
		水量・人口	料金（円）				
専 用 栓	普 通 用	10m ³	60	（1 m ³ につき） 7	（1 栓につき） 10	量水器使用料	
	湯 屋 用	100m ³	400	5	10	口 径 （mm以下）	料金 （円）
	量水器のないもの	5人	60	（1 人増すごと） 15	10		
		（共用栓使用者） 5人	55	15	10	16	13
共用栓	量水器のないもの	5人	40	12	（1 戸につき） 10	25	26
特 設 栓	官 公 署 ・ 学 校 公 共 団 体	20m ³	120	（1 m ³ につき） 7	（1 栓につき） 10	50	100
	会 社 ・ そ の 他 営 業 用	20m ³	200	12	10	100	260
消火栓	消 火 演 習 用	－	－	（15分ごと） 90	－	150	650

④ 昭和28年 3 月25日改正

栓 種	用 途 及 び 種 別	最低料金（1 か月につき）		超過料金 （円）	設備料 （円）	量水器使用料	
		水量・人口	料金（円）				
専 用 栓	普 通 用	10m ³	80	（1 m ³ につき） 9	（1 栓につき） 15	量水器使用料	
	湯 屋 用	100m ³	600	8	15	口 径 （mm以下）	料金 （円）
	量水器のないもの	5人	80	（1 人増すごと） 8	15		
共用栓	量水器のないもの	5人	70	18	－	16	20
特 設 栓	官 公 署 ・ 学 校 公 共 団 体	20m ³	180	10	15	25	40
	会 社 ・ そ の 他 営 業 用	20m ³	300	18	15	50	150
	臨 時 用	20m ³	600	25	15	100	390
消火栓	消 火 演 習 用	－	－	（10分ごと） 120	－	150	980

⑤ 昭和30年 2 月10日改正

種 別		用 途	最低使用料(1 か月につき)		超過料金 (円)	支栓料 (円)
			水量・人口	料金 (円)		
計 量 栓	専用栓	家 庭 用	10m ³	110	(1m ³ につき) 12	－
		官 公 署 用	20m ³	200	12	－
		営 業 用	10m ³	110	18	－
		湯屋・プール用	100m ³	800	10	－
		工 業 用	100m ³	1,100	12	－
	共用栓	家 庭 用	8m ³	70	11	－
		臨 時 用	10m ³	300	35	－
定 額 栓	専用栓	家 庭 用	5人	110	(1人増すごと) 25	20
		営 業 用	5人	160	35	20
		官 公 署 用	30人	110	25	20
	共用栓	家 庭 用	5人	80	20	20
		消 火 栓 ・ 演 習 用	10分間 160円			

量水器使用料	
口 径	料 金
(mm以下)	(円)
16	25
25	50
50	200
100	500
150	900
151以上	1,200

⑥ 昭和31年 4 月 1 日改正

種 別		用 途	最低使用料(1 か月につき)		超過料金 (円)	支栓料 (円)
			水量・人口	料金 (円)		
専 用 栓	計 量 栓	家 庭 用	10m ³	150	(1m ³ につき) 16	－
		官公署・学校・病院・その他団体用	20m ³	300	16	－
		営 業 用	10m ³	150	20	－
		湯 屋 営 業 用 及 び プ ー ル 用	100m ³	1,100	13	－
		工 業 用	100m ³	1,300	16	－
	定 額 栓	家 庭 用	5人	160	(1人増すごと) 35	20
		営 業 用	5人	200	45	20
		官公署・学校・病院・その他団体用	5人	150	35	20
共 用 栓	計 量 栓		8m ³	90	(1m ³ につき) 14	－
	定 額 栓		5人	100	(1人増すごと) 20	－
消 火 栓	演 習 の た め		10分間 200円			
特 設 栓	船舶・臨時その他		－	－	(1m ³ につき) 40	－

量水器使用料	
口 径	料 金
(mm以下)	(円)
16	30
25	60
50	240
100	600
150	1,200
151以上	1,500

⑦ 昭和41年4月1日改正

用途 \ 区分	基本料金(1か月につき)		超過料金 (円/㎡)	量水器使用料	
	水量 (㎡)	料金 (円)		口径 (mm以下)	料金 (円)
家庭用	10	200	25	16	30
官公署・学校・病院用	20	400	25	25	60
営業用	10	200	30	50	240
湯屋・プール用	100	1,400	20	100	600
工業用	100	1,700	25	150	1,200
臨時用	-	-	50	151以上	1,500

⑧ 昭和49年11月1日改正

用途 \ 区分	基本料金(1か月につき)		超過料金(1㎡につき)		量水器使用料	
	水量 (㎡)	料金 (円)	水量 (㎡)	料金 (円)	口径 (mm以下)	料金 (円)
家庭用	10	300	11~20	40	16	60
			21以上	55		
官公署・学校・病院用	20	600	21以上	55		
営業用	10	300	11~20	50		
			21以上	60		
湯屋・プール用	100	2,000	101以上	40		
工業用	100	3,000	101以上	55		
臨時用	-	-	-	100	151以上	4,500

⑨ 昭和55年 4 月 1 日改正

区分 用途	基本料金（1 か月につき）		超過料金（1 m ³ につき）		量水器使用料	
	水量（m ³ ）	料金（円）	水量（m ³ ）	料 金 （ 円 ）	口 径	料 金
家 庭 用	10	400	11～20	55	(mm以下)	(円)
			21以上	80		
官公署・学校・病院用	20	900	21以上	85	16	60
営 業 用	10	450	11～20	75	25	120
			21以上	85	50	600
湯 屋 ・ プ ー ル 用	100	2, 000	101以上	60	100	1, 500
工 業 用	100	4, 500	101以上	85	150	3, 500
臨 時 用	－	－	－	150	151以上	4, 500

⑩ 昭和56年 4 月 1 日改正

区分 口径又は用途	基本料金（1 か月につき）		従量料金（1 m ³ につき）	
	水 量（m ³ ）	料 金（円）	水 量（m ³ ）	料 金（円）
1 3 mm	－	300	1～10	30
2 0 mm	－	400	11～20	70
2 5 mm	－	400	21～30	90
4 0 mm	－	2, 000	31～50	100
5 0 mm	－	3, 000	51～100	115
7 5 mm	－	6, 500	101以上	120
1 0 0 mm	－	12, 000	－	－
1 5 0 mm	－	27, 000	－	－
2 0 0 mm	－	49, 000	－	－
3 0 0 mm	－	110, 000	－	－
公 衆 浴 場 用	100	2, 500	101以上	60
臨 時 用	10	3, 000	11以上	200

⑪ 平成2年4月1日改正

区分 量水器の 口径又は用途	基本料金（1 か月につき）		従量料金（1 m ³ につき）	
	水 量（m ³ ）	料 金（円）	水 量（m ³ ）	料 金（円）
13 mm	－	400	1～10	40
20 mm	－	500	11～20	80
25 mm	－	600	21～30	110
40 mm	－	2,600	31～50	120
50 mm	－	4,000	51～100	140
75 mm	－	8,500	101以上	160
100 mm	－	16,000	－	－
150 mm	－	35,000	－	－
200 mm	－	64,000	－	－
300 mm	－	143,000	－	－
公衆浴場用	100	3,000	101以上	80
臨時用	10	4,000	11以上	300

⑫ 平成6年4月1日改正

区分 量水器の 口径又は用途	基本料金（1 か月につき）		従量料金（1 m ³ につき）	
	水 量（m ³ ）	料 金（円）	水 量（m ³ ）	料 金（円）
13 mm	－	500	1～10	50
20 mm	－	700	11～20	90
25 mm	－	900	21～30	120
40 mm	－	4,300	31～50	140
50 mm	－	7,200	51～100	160
75 mm	－	15,300	101以上	180
100 mm	－	28,800	－	－
150 mm	－	63,000	－	－
200 mm	－	115,000	－	－
300 mm	－	257,000	－	－
公衆浴場用	100	3,000	101以上	90
臨時用	100	4,000	11以上	360

⑬ 平成10年4月1日改正

区分 量水器の 口径又は用途	基本料金（1 か月につき）		従量料金（1 m ³ につき）	
	水 量（m ³ ）	料 金（円）	水 量（m ³ ）	料 金（円）
13 mm	－	550	1～10	60
20 mm	－	900	11～20	110
25 mm	－	1,100	21～30	150
40 mm	－	5,200	31～50	170
50 mm	－	9,500	51～100	190
75 mm	－	18,900	101以上	205
100 mm	－	37,000	－	－
150 mm	－	72,000	－	－
200 mm	－	135,000	－	－
300 mm	－	312,000	－	－
公衆浴場用	100	4,000	101以上	110
臨時用	10	4,800	11以上	430

⑭ 平成30年4月1日改正

区分 量水器の 口径又は用途	基本料金（1 か月につき）		従量料金（1 m ³ につき）	
	水 量（m ³ ）	料 金（円）	水 量（m ³ ）	料 金（円）
13 mm	－	850	1～5	10
20 mm	－	1,250	6～10	65
25 mm	－	1,850	11～20	120
40 mm	－	7,350	21～30	165
50 mm	－	13,450	31～50	185
75 mm	－	26,700	51～100	210
100 mm	－	52,000	101以上	225
150 mm	－	98,500	－	－
200 mm	－	173,500	－	－
300 mm	－	388,500	－	－
公衆浴場用	100	4,500	101以上	125
臨時用	10	5,400	11以上	485

※消費税転嫁は平成元年度から

(19) 口径別分担金の変遷（税抜）

（単位：円）

年 度 分担金 口径	昭和45年度 制定	昭和48年度 改定	平成 2 年度 改定	平成 6 年度 改定	平成10年度 改定
1 3 mm	20, 000	25, 000	40, 000	64, 000	89, 000
2 0 mm	30, 000	37, 000	60, 000	96, 000	134, 000
2 5 mm	50, 000	62, 000	100, 000	160, 000	224, 000
4 0 mm	150, 000	190, 000	300, 000	540, 000	810, 000
5 0 mm	300, 000	380, 000	600, 000	1, 040, 000	1, 560, 000
7 5 mm	600, 000	750, 000	1, 200, 000	2, 160, 000	3, 240, 000
1 0 0 mm	1, 200, 000	1, 500, 000	2, 400, 000	4, 300, 000	6, 450, 000
1 5 0 mm	その都度 管理者が決定	その都度 管理者が決定	6, 000, 000	10, 700, 000	16, 050, 000
2 0 0 mm			その都度 管理者が決定	その都度 管理者が決定	その都度 管理者が決定
3 0 0 mm					

※消費税転嫁は平成元年度から

(20) 用途別の使用水量

年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	使用水量 (m³)	構成比 (%)	使用水量 (m³)	構成比 (%)	使用水量 (m³)	構成比 (%)
家 庭 用	19,430,728	86.64	19,103,853	86.20	18,743,392	85.74
官公署・学校用	544,574	2.43	581,245	2.62	561,588	2.57
営 業 用	1,860,714	8.30	1,813,662	8.18	1,900,916	8.69
公 衆 浴 場 用	1,402	0.01	0	0.00	0	0.00
工 業 用	583,168	2.60	646,310	2.92	649,630	2.97
プ ー ル 用	4,998	0.02	16,769	0.08	6,111	0.03
臨 時 用	316	0.00	499	0.00	549	0.00
計	22,425,900	100.00	22,162,338	100.00	21,862,186	100.00

(21) 用途別の給水収益

年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	給水収益 (円)	構成比 (%)	給水収益 (円)	構成比 (%)	給水収益 (円)	構成比 (%)
家 庭 用	3,340,739,234	81.13	3,272,938,815	80.44	3,219,809,494	79.91
官公署・学校用	164,249,470	3.99	172,912,215	4.25	167,438,560	4.16
営 業 用	447,860,041	10.87	438,083,486	10.77	459,499,708	11.40
公 衆 浴 場 用	106,599	0.00	0	0.00	0	0.00
工 業 用	161,560,816	3.92	177,431,727	4.36	178,129,117	4.42
プ ー ル 用	3,700,107	0.09	7,164,891	0.17	3,944,279	0.10
臨 時 用	185,520	0.00	327,222	0.01	297,785	0.01
計	4,118,401,787	100.00	4,068,858,356	100.00	4,029,118,943	100.00

4 財 務

(1) 企業債の概要

令和5年3月31日現在

借 入 先	発行総額（円）	構成比（％）	未償還残高（円）	構成比（％）
財 務 省	10,962,300,000	42.49	3,055,575,812	23.26
地方公共団体金融機構	14,838,600,000	57.51	10,079,704,970	76.74
合 計	25,800,900,000	100.00	13,135,280,782	100.00

(2) 比較損益計算書

科 目 \ 年 度		令和2年度	
		金 額 (円)	構成比 (%)
収 益	営 業 収 益	3,783,556,725	85.38
	給 水 収 益	3,744,002,404	84.49
	受 託 工 事 収 益	28,856,132	0.65
	そ の 他 営 業 収 益	8,309,150	0.19
	他 会 計 負 担 金	2,389,039	0.05
	営 業 外 収 益	647,540,343	14.62
	受 取 利 息 及 び 配 当 金	2,436,317	0.06
	他 会 計 補 助 金	14,923,413	0.34
	雑 収 益	97,831,661	2.21
	長 期 前 受 金 戻 入	532,348,952	12.01
	特 別 利 益	84,314	0.00
	固 定 資 産 売 却 益	84,314	0.00
	過 年 度 損 益 修 正 益	0	0.00
	合 計	4,431,181,382	100.00
費 用	営 業 費 用	3,389,232,676	93.39
	原 水 及 び 浄 水 費	697,442,148	19.22
	配 水 費	71,089,945	1.96
	給 水 費	83,972,782	2.31
	受 託 工 事 費	22,801,388	0.63
	業 務 費	201,516,819	5.55
	総 係 費	515,411,936	14.20
	減 価 償 却 費	1,674,058,730	46.13
	資 産 減 耗 費	122,938,928	3.39
	営 業 外 費 用	237,577,945	6.55
	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	214,193,926	5.90
	雑 支 出	23,384,019	0.65
	特 別 損 失	2,182,885	0.06
	過 年 度 損 益 修 正 損	2,182,885	0.06
	合 計	3,628,993,506	100.00
当 年 度 純 利 益		802,187,876	-

令和3年度		令和4年度	
金 額（円）	構成比（％）	金 額（円）	構成比（％）
3,738,275,319	85.53	3,683,554,598	84.97
3,698,962,263	84.63	3,662,835,403	84.49
27,908,524	0.64	9,164,672	0.21
9,454,560	0.22	8,954,700	0.21
1,949,972	0.04	2,599,823	0.06
632,646,476	14.47	651,429,102	15.03
991,718	0.02	1,198,116	0.03
1,545,689	0.04	1,379,277	0.03
95,856,436	2.19	98,489,572	2.27
534,252,633	12.22	550,362,137	12.7
43,001	0.00	104,020	0.00
0	0.00	62,000	0.00
43,001	0.00	42,020	0.00
4,370,964,796	100.00	4,335,087,720	100.00
3,337,840,630	93.92	3,507,932,727	94.87
704,673,961	19.83	814,977,069	22.04
67,020,212	1.89	80,209,873	2.17
137,655,374	3.87	134,245,335	3.63
20,966,810	0.59	6,596,701	0.18
203,180,329	5.72	202,780,582	5.48
487,966,611	13.73	521,887,518	14.11
1,682,122,746	47.33	1,686,970,637	45.63
34,254,587	0.96	60,265,012	1.63
214,221,033	6.03	187,086,933	5.06
189,556,137	5.34	165,213,663	4.47
24,664,896	0.69	21,873,270	0.59
1,691,262	0.05	2,465,320	0.07
1,691,262	0.05	2,465,320	0.07
3,553,752,925	100.00	3,697,484,980	100.00
817,211,871	—	637,602,740	—

(3) 比較貸借対照表

科 目		令和2年度	
		金 額 (円)	構成比 (%)
資 産 の 部	固 定 資 産	44,838,679,163	91.63
	有 形 固 定 資 産	44,837,020,163	91.63
	土 地	1,077,829,174	2.20
	建 物	1,533,789,054	3.13
	構 築 物	37,579,945,712	76.80
	機 械 及 び 装 置	1,953,159,063	3.99
	車 両 運 搬 具	17,158,459	0.04
	工 具 器 具 及 び 備 品	33,935,699	0.07
	建 設 仮 勘 定	2,641,203,002	5.40
	無 形 固 定 資 産	1,659,000	0.00
	電 話 加 入 権	1,659,000	0.00
	流 動 資 産	4,095,714,789	8.37
	現 金 預 金	3,096,317,112	6.33
	未 収 金	889,686,475	1.82
	貯 蔵 品	12,211,202	0.02
	前 払 金	97,500,000	0.20
資 産 合 計		48,934,393,952	100.00

令和3年度		令和4年度	
金	額（円）	金	額（円）
	構成比（％）		構成比（％）
44,748,575,666	90.95	44,418,980,250	90.69
44,746,916,666	90.95	44,417,321,250	90.69
1,077,115,300	2.19	1,077,115,300	2.20
1,485,354,901	3.02	1,571,233,950	3.21
37,541,915,829	76.30	39,872,284,625	81.41
1,766,191,097	3.59	1,677,847,087	3.43
12,993,703	0.03	11,583,060	0.02
28,362,834	0.06	29,662,049	0.06
2,834,983,002	5.76	177,595,179	0.36
1,659,000	0.00	1,659,000	0.00
1,659,000	0.00	1,659,000	0.00
4,448,927,127	9.05	4,557,597,197	9.31
3,898,640,842	7.92	4,002,820,541	8.17
416,684,413	0.85	442,480,144	0.90
12,701,872	0.03	12,296,512	0.03
120,900,000	0.25	100,000,000	0.21
49,197,502,793	100.00	48,976,577,447	100.00

科 目 \ 年 度		令和 2 年度	
		金 額 (円)	構成比 (%)
負 債 の 部	固 定 負 債	14,100,030,252	28.81
	企 業 債	13,495,432,252	27.58
	建 設 改 良 等 企 業 債	13,495,432,252	27.58
	引 当 金	604,598,000	1.23
	退 職 給 付 引 当 金	604,598,000	1.23
	流 動 負 債	1,707,820,691	3.49
	企 業 債	1,073,854,907	2.19
	建 設 改 良 等 企 業 債	1,073,854,907	2.19
	未 払 金	316,846,815	0.65
	前 受 金	1,860,115	0.00
	引 当 金	49,746,000	0.11
	賞 与 引 当 金	41,746,000	0.09
	法 定 福 利 費 引 当 金	8,000,000	0.02
	そ の 他 流 動 負 債	265,512,854	0.54
	繰 延 収 益	12,431,852,025	25.41
	長 期 前 受 金	24,667,868,763	-
	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 12,236,016,738	-
負 債 合 計		28,239,702,968	57.71
資 本 の 部	資 本 金	19,078,823,658	38.99
	剰 余 金	1,615,867,326	3.30
	資 本 剰 余 金	12,920,675	0.03
	受 贈 財 産 評 価 額	9,116,144	0.02
	工 事 負 担 金	3,066,634	0.01
	国 県 支 出 金	689,200	0.00
	他 会 計 支 出 金	48,697	0.00
	利 益 剰 余 金	1,602,946,651	3.27
	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	1,602,946,651	3.27
	資 本 合 計	20,694,690,984	42.29
負 債 資 本 合 計		48,934,393,952	100.00

令和3年度		令和4年度	
金 額（円）	構成比（％）	金 額（円）	構成比（％）
13,415,953,782	27.27	12,723,419,150	25.98
12,827,480,782	26.07	12,161,844,150	24.83
12,827,480,782	26.07	12,161,844,150	24.83
588,473,000	1.20	561,575,000	1.15
588,473,000	1.20	561,575,000	1.15
1,849,856,599	3.76	1,791,652,826	3.66
1,055,551,470	2.14	973,436,632	1.99
1,055,551,470	2.14	973,436,632	1.99
476,119,942	0.97	490,815,585	1.00
2,799,077	0.01	6,481,976	0.01
49,303,000	0.10	45,655,000	0.10
41,381,000	0.08	38,306,000	0.08
7,922,000	0.02	7,349,000	0.02
266,083,110	0.54	275,263,633	0.56
12,419,916,610	25.25	12,313,317,801	25.14
25,126,389,539	－	25,493,451,432	－
△ 12,706,472,929	－	△ 13,180,133,631	－
27,685,726,991	56.28	26,828,389,777	54.78
19,879,582,433	40.40	20,681,343,686	42.22
1,632,193,369	3.32	1,466,843,984	3.00
13,220,245	0.03	13,220,245	0.03
9,415,714	0.02	9,415,714	0.02
3,066,634	0.01	3,066,634	0.01
689,200	0.00	689,200	0.00
48,697	0.00	48,697	0.00
1,618,973,124	3.29	1,453,623,739	2.97
1,618,973,124	3.29	1,453,623,739	2.97
21,511,775,802	43.72	22,148,187,670	45.22
49,197,502,793	100.00	48,976,577,447	100.00

5 経営分析

(1) 配水量分析表

区 分				配 水 量 (m³)	説 明
配 水 量	有 効 水 量	有 収 水 量	料 金 水 量	21,862,186	料金徴収の基礎となった水量
			そ の 他	2,890	他会計から維持管理費として収入のある 水量 ・ 消防用水量
			計	21,865,076	
		無 収 水 量	メーター不感水量	874,487	有効に使用された水量のうち、メーター 不感のため料金徴収の対象とならない水 量
			局内事業用水量	501,036	管洗浄作業及び漏水防止作業等水道施設 に係る局内事業に使用した水量
			そ の 他	0	料金及びその他の収入が全くない水量
			計	1,375,523	
		計		23,240,599	
	無 効 水 量	調 定 減 額 水 量	44,999	濁り水や宅内漏水等のため料金徴収の際 の調定により減額の対象となった水量	
		そ の 他	1,072,894	・ 配水本管支管からの漏水量 ・ メーター上流側給水管からの漏水量 ・ 他に起因する水道施設の損害等により 無効となった水量及び不明水量	
		計	1,117,893		
	総 配 水 量			24,358,492	

(2) 施設の効率性

	算 式	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
有 収 率	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	%	91.59	91.99	92.25
施 設 利 用 率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	%	57.83	59.34	58.48
負 荷 率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	%	92.31	91.84	94.14
最 大 稼 働 率	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	%	62.65	64.61	62.12
配水管使用効率	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管総延長}}$	m ³ /m	17.77	17.97	17.81

同規模全国 平均 3 年度	令和 4 年度	備 考
90. 21	$\frac{21,865,076}{24,358,492} \times 100 = 89.76$	総配水量のうち料金収入となった水量の割合。数値は高いほど良い。
62. 57	$\frac{66,736}{112,552} \times 100 = 59.29$	施設の利用状況や適正規模を判断する指標の一つ。 ※休止施設を除く。
91. 46	$\frac{66,736}{86,910} \times 100 = 76.79$	施設が年間を通じて有効に使用されているか判断する指標の一つ。数値は高いほど良い。
68. 41	$\frac{86,910}{112,552} \times 100 = 77.22$	100%を超える時は配水能力が最大配水量に不足し、100%を大きく下回る場合は遊休施設を有している。 ※休止施設を除く。
18. 91	$\frac{24,358,492}{1,350,881} = 18.03$	配水管が効率的に使用されているかを判断する指標。数値は高いほど良いが、人口密度による影響も考えられる。

(3) 経営の効率性

	算 式	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
給 水 原 価	$\frac{\text{総費用－受託工事費－材料・不用品売却原価} \\ \text{－特別損失－長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	円/㎥	137.73	136.97	135.22
供 給 単 価	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	円/㎥	168.33	166.95	166.90
職員一人当たり 給 水 人 口	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	人	3,760	3,303	3,513
職員一人当たり 有 収 水 量	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	㎥	416,571	373,765	395,756
職員一人当たり 営 業 収 益	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	千円	70,319	62,578	66,257
職員一人当たり 有 形 固 定 資 産	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{損益勘定職員数＋資本勘定職員数}}$	千円	619,823	567,557	604,688

※令和2年度から損益勘定職員数及び資本勘定職員数は会計年度任用職員数を含む。

同規模全国 平均 3 年度	令和 4 年度	備 考
162.77	$\frac{3,697,484,980 - 6,596,701 - 263,150 - 2,465,320 - 550,362,137}{21,865,076} = 143.51$	有収水量 1 m ³ 当たり、どれだけの費用がかかっているかを表している。
171.39	$\frac{3,662,835,403}{21,865,076} = 167.52$	有収水量 1 m ³ 当たり、どれだけの収益を得ているかを表している。
3,326	$\frac{195,788}{55} = 3,560$	職員数が適正かどうかを判断する指標の一つ。数値は高いほど良い。
353,219	$\frac{21,865,076}{55} = 397,547$	職員数が適正かどうかを判断する指標の一つ。数値は高いほど良い。
63,277	$\frac{3,683,555(\text{千円}) - 9,165(\text{千円})}{55} = 66,807$	職員数が適正かどうかを判断する指標の一つ。数値は高いほど良い。
472,481	$\frac{44,417,321(\text{千円})}{55 + 19} = 600,234$	職員数が適正かどうかを判断する指標の一つ。数値は高いほど良い。

	算 式	単位	令和元年度	令和２年度	令和３年度
総資本利益率	$\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \times 1/2} \times 100$	%	1.66	1.66	1.67
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	%	122.32	122.10	123.00
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	%	122.05	122.18	123.05
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	%	112.59	111.53	111.86
利子負担率	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{建設改良の財源に充てるための企業債・長期借入金} + \text{その他の企業債・長期借入金} + \text{一時借入金} + \text{リース債務}} \times 100$	%	1.62	1.47	1.37
企業債元金償還金 対減価償却費比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	%	89.81	91.25	93.55
企業債元金償還金 対給水収益比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	%	27.05	27.83	29.03
企業債利息 対給水収益比率	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	%	6.47	5.72	5.12
職員給与費 対給水収益比率	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	%	12.68	12.63	11.99

※総資本＝資本＋負債

※令和２年度から職員給与費は会計年度任用職員分を含む。

同規模全国 平均 3 年度	令和 4 年度	備 考
1. 17	$\frac{639,964,040}{(49,197,502,793+48,976,577,447) \times 1/2} \times 100 = 1.30$	投下した資本に対する利益率を示す指標。数値が高いほど効率性、収益性が高い。
112. 21	$\frac{4,335,087,720}{3,697,484,980} \times 100 = 117.24$	全体的な経営収支状態を示す比率。数値は高いほど良く、100%未満の場合は総収益で総費用を賄えていない。
112. 26	$\frac{4,334,983,700}{3,695,091,660} \times 100 = 117.32$	経常的な経営収支状態を示す比率。数値は高いほど良く、100%未満の場合は経常的な赤字の状態にある。
103. 30	$\frac{3,683,554,598-9,164,672}{3,507,932,727-6,596,701} \times 100 = 104.94$	主要事業での経営収支状態を示す比率。数値は高いほど良く、100%未満の場合は主要事業で赤字が発生している。
1. 40	$\frac{165,213,663+0}{13,135,280,782+0+0+0} \times 100 = 1.26$	負債に対する利子負担の比率を示す指標。数値は低いほど良い。
72. 36	$\frac{1,055,551,470}{1,686,970,637-550,362,137} \times 100 = 92.87$	内部留保資金である減価償却費で、企業債元金償還金が賄われているかを示す指標。数値は100%以下が望ましい。
21. 10	$\frac{1,055,551,470}{3,662,835,403} \times 100 = 28.82$	企業債元金償還金がどの程度経営の圧迫要因となっているのかを示す指標。数値は低いほど良い。
4. 00	$\frac{165,213,663}{3,662,835,403} \times 100 = 4.51$	企業債利息がどの程度経営の圧迫要因となっているのかを示す指標。数値は低いほど良い。
11. 83	$\frac{459,034,152}{3,662,835,403} \times 100 = 12.53$	職員給与費がどの程度経営の圧迫要因となっているのかを示す指標。数値は低いほど良い。

	算式	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自己資本回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本}) \times 1/2}$	回	0.12	0.12	0.11
固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産}) \times 1/2}$	回	0.09	0.08	0.08
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産}) \times 1/2}$	回	0.87	0.90	0.87
未収金回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金}) \times 1/2}$	回	6.70	4.97	5.65
減価償却率	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$	%	3.83	3.91	3.96

※自己資本＝資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益

同規模全国 平均 3 年度	令和 4 年度	備 考
0.13	$\frac{3,683,554,598 - 9,164,672}{(33,931,692,412 + 34,461,505,471) \times 1/2} = 0.11$	自己資本の活動状況を判断する指標。数値が高いほど自己資本の利用が効率よく活発になされている。
0.11	$\frac{3,683,554,598 - 9,164,672}{(44,748,575,666 + 44,418,980,250) \times 1/2} = 0.08$	固定資産の利用度を判断する指標。数値が高いほど固定資産が有効に稼働している。
0.76	$\frac{3,683,554,598 - 9,164,672}{(4,448,927,127 + 4,557,597,197) \times 1/2} = 0.82$	流動資産の利用度を判断する指標。数値が高いほど流動資産が有効に稼働している。
7.42	$\frac{3,683,554,598 - 9,164,672}{(420,048,611 + 446,280,740) \times 1/2} = 8.48$	未収金の回収速度を判断する指標。数値が高いほど未収期間が短く、未収金が速く回収されている。なお、「期首未収金」と「期末未収金」は、貸倒引当金を控除する前の未収金残高を意味する。
4.18	$\frac{1,686,970,637}{44,417,321,250 + 1,659,000 - 1,077,115,300 - 177,595,179 + 1,686,970,637} \times 100 = 3.76$	減価償却費が適当か否か及び統一的な償却方法がとられているか否かを判断する指標。年度により極端に変動していれば検討を要する。

(4) 財政状態の健全性

	算 式	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固 定 資 産 構 成 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$	%	91.21	91.63	90.96
固 定 負 債 構 成 比 率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	%	29.85	28.81	27.27
自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	%	66.53	67.70	68.97
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{固定負債}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$	%	94.63	94.94	94.51
固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$	%	137.09	135.36	131.88
流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	%	243.28	239.82	240.50
当 座 比 率 (酸性試験比率)	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	%	239.89	233.40	233.28
現 金 比 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	%	204.68	181.30	210.75

同規模全国 平均 3 年度	令和 4 年度	備 考
87. 70	$\frac{44,418,980,250}{44,418,980,250+4,557,597,197+0} \times 100 = 90.69$	総資産に占める固定資産の割合を示す指標。固定資産の増大は固定費の増加や資金の固定化をもたらすため、比率は低い方が望ましい。
25. 09	$\frac{12,723,419,150}{48,976,577,447} \times 100 = 25.98$	総資本に占める長期負債の割合を示す指標。経営の長期的安全性を測る指標で、比率は低い方が望ましい。
70. 89	$\frac{20,681,343,686+1,466,843,984+0+12,313,317,801}{48,976,577,447} \times 100 = 70.36$	総資本に占める自己資本の割合を示す指標。比率が高い方が経営の安全性は高い。
91. 37	$\frac{44,418,980,250}{20,681,343,686+1,466,843,984+12,723,419,150+0+12,313,317,801} \times 100 = 94.14$	固定資産が自己資本と固定負債でどの程度賄われているかを示す指標。数値は100%以下であることが必要で、100%を超える場合は不良債務が発生している。
123. 71	$\frac{44,418,980,250}{20,681,343,686+1,466,843,984+0+12,313,317,801} \times 100 = 128.89$	固定資産が自己資本でどの程度賄われているかを示す指標。比率が低い程良く、高いと借入金の資金調達を示し財政的不安定を意味する。
306. 15	$\frac{4,557,597,197}{1,791,652,826} \times 100 = 254.38$	短期債務に対する支払能力を示す指標。比率は100%以上必要である。
290. 49	$\frac{4,002,820,541+(446,280,740-3,800,596)}{1,791,652,826} \times 100 = 248.11$	短期債務に対する現金預金及び現金化されるものによる支払能力を示す指標。比率は100%以上が適当である。
259. 99	$\frac{4,002,820,541}{1,791,652,826} \times 100 = 223.41$	短期債務に対する即時的な支払能力を示す指標。比率は100%以上が望ましい。

6 水道事業ガイドライン

水道事業ガイドラインは、経営の効率化及び事業経営の透明性の確保を目的に、平成 17 年 1 月に公益社団法人日本水道協会の規格として制定され、平成 28 年に改定が行われた。

ガイドラインによる分析は、水道事業を統一した基準で評価するために、地理的条件など、事業体の背景情報（CI：Context Information）を考慮するとともに、事業を客観的な数値で示し、様々な角度から分析するための手段である業務指標（PI：Performance Indicator）を基に行うこととしている。

業務指標を用いることで、他の水道事業体との対比や経年対比により、業務状況を定量的に把握することができ、また、お客様に分かりやすい情報を提供するとともに、今後のサービス向上に活かすことができる。

業務指標は全部で 119 項目あり、水道サービスの目標となる次の 3 つの柱の下に分類される。

- ・安全で良質な水（17 項目）
水道水の安全性をより一層高め、良質な水道水を提供する。
- ・安定した水の供給（57 項目）
いつでもどこでも安定的に水道水を供給する。
- ・健全な事業経営（45 項目）
健全かつ安定的な事業経営を継続する。

鈴鹿市上下水道局では、背景情報 9 項目を踏まえた上で、令和 2 年度から令和 4 年度までの各年度の決算値に基づき、業務指標全 119 項目のうち、算出可能な 113 項目について試算を行った。

目標	分類	区分	番号	業務指標	算式
安全で 良質な水	運営管理	水質管理	A101	平均残留塩素濃度	残留塩素濃度合計/残留塩素測定回数
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	(最大カビ臭物質濃度/水質基準値) × 100
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	Σ (給水栓の総トリハロメタン濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率	Σ (給水栓の有機物 (TOC) 濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A105	重金属濃度水質基準比率	Σ (給水栓の当該重金属濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A106	無機物質濃度水質基準比率	Σ (給水栓の当該無機物質濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A107	有機化学物質濃度水質基準比率	Σ (給水栓の当該有機化学物質濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	Σ (給水栓の当該消毒副生成物濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A109	農薬濃度水質管理目標比	$\max \Sigma (X_{ij}/GV_j)$
		施設管理	A201	原水水質監視度	原水水質監視項目数
			A202	給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度	(給水栓水質検査 (毎日) 採水箇所数/現在給水面積) × 100
			A203	配水池清掃実施率	(5年間に清掃した配水池有効容量/配水池有効容量) × 100
			A204	直結給水率	(直結給水件数/給水件数) × 100
			A205	貯水槽水道指導率	(貯水槽水道指導件数/貯水槽水道数) × 100
		事故災害 対策	A301	水源の水質事故件数	年間水源水質事故件数
			A302	粉末活性炭処理比率	(粉末活性炭年間処理水量/年間浄水量) × 100
	施設整備	施設更新	A401	鉛製給水管率	(鉛製給水管使用件数/給水件数) × 100
安定した 水の供給	運営管理	施設管理	B101	自己保有水源率	(自己保有水源水量/全水源水量) × 100
			B102	取水量1㎡当たり 水源保全投資額	水源保全に投資した費用/年間取水量
			B103	地下水率	(地下水揚水量/年間取水量) × 100
			B104	施設利用率	(一日平均配水量/施設能力) × 100
			B105	最大稼働率	(一日最大配水量/施設能力) × 100
			B106	負荷率	(一日平均配水量/一日最大配水量) × 100

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
mg/L	0.28	0.28	0.28	
%	20.0	20.0	40.0	
%	0.0	0.0	10.0	
%	12.7	13.3	13.7	
%	0.0	0.0	0.0	
%	16.6	16.1	16.2	
%	0.0	0.0	0.0	
%	0.0	0.0	0.0	
-	0.000	0.000	0.000	
項目	69	69	69	
箇所/100km ²	14.2	14.2	13.6	
%	61.1	64.9	72.3	
%	92.4	92.3	92.3	
%	100.0	100.0	100.0	
件	0	0	0	
%	0.0	0.0	0.0	
%	0.0	0.0	0.0	
%	83.5	83.3	82.9	
円/m ³	0.0	0.0	0.0	
%	99.3	99.6	99.8	
%	59.3	58.5	60.8	休止施設を除く。
%	64.6	62.1	79.1	休止施設を除く。
%	91.8	94.1	76.8	

目標	分類	区分	番号	業務指標	算式
安定した 水の供給	運営管理	施設管理	B107	配水管延長密度	配水管延長/現在給水面積
			B110	漏水率	(年間漏水量/年間配水量) × 100
			B111	有効率	(年間有効水量/年間配水量) × 100
			B112	有収率	(年間有収水量/年間配水量) × 100
			B113	配水池貯留能力	配水池有効容量/一日平均配水量
			B114	給水人口一人当たり配水量	(一日平均配水量/現在給水人口) × 1,000
			B115	給水制限日数	年間給水制限日数
			B116	給水普及率	(現在給水人口/給水区域内人口) × 100
			B117	設備点検実施率	(点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数) × 100
		事故災害 対策	B201	浄水場事故割合	10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数
			B202	事故時断水人口率	(事故時断水人口/現在給水人口) × 100
			B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	(配水池有効容量 × 1/2 + 緊急貯水槽容量) × 1,000/現在給水人口
			B204	管路の事故割合	管路の事故件数/ (管路延長/100)
			B205	基幹管路の事故割合	基幹管路の事故件数/ (基幹管路延長/100)
			B206	鉄製管路の事故割合	鉄製管路の事故件数/ (鉄製管路延長/100)
			B207	非鉄製管路の事故割合	非鉄製管路の事故件数/ (非鉄製管路延長/100)
			B208	給水管の事故割合	給水管の事故件数/ (給水件数/1,000)
			B210	災害対策訓練実施回数	年間の災害対策訓練実施回数
			B211	消火栓設置密度	消火栓数/配水管延長
		環境対策	B301	配水量1㎡当たり電力消費量	電力使用量の合計/年間配水量
			B302	配水量1㎡当たり消費エネルギー	エネルギー消費量/年間配水量
			B303	配水量1㎡当たり二酸化炭素(CO2)排出量	[二酸化炭素(CO2) 排出量/年間配水量] × 1,000,000
			B304	再生可能エネルギー利用率	(再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量) × 100

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
km/km ²	7.7	7.7	7.7	
%	3.7	2.5	4.4	
%	100.0	100.0	100.0	
%	92.0	92.3	89.8	
日	0.86	0.85	0.84	
L/日・人	337.1	334.6	341.0	
日	0	0	0	
%	99.9	99.9	99.9	
%	11.8	11.6	11.5	
件/10年・箇所	0.00	0.00	0.00	
%	36.3	36.4	36.2	
L/人	146.8	142.7	143.0	
件/100km	1.1	1.1	1.1	
件/100km	1.1	0.0	0.0	
件/100km	0.0	0.7	0.9	
件/100km	3.3	2.0	1.5	
件/1,000件	1.8	1.7	1.7	
回/年	2	2	2	
基/km	2.0	2.0	2.0	
kWh/m ³	0.52	0.51	0.51	
MJ/m ³	1.86	1.84	1.84	
g・CO ₂ /m ³	250.8	193.8	193.0	
%	0.083	0.192	0.200	

目標	分類	区分	番号	業務指標	算式
安定した水の供給	運営管理	環境対策	B305	浄水発生土の有効利用率	$(\text{有効利用土量} / \text{浄水発生土量}) \times 100$
			B306	建設副産物のリサイクル率	$(\text{リサイクルされた建設副産物量} / \text{建設副産物発生量}) \times 100$
	施設整備	施設管理	B401	ダクトイル鋳鉄管・鋼管率	$[(\text{ダクトイル鋳鉄管延長} + \text{鋼管延長}) / \text{管路延長}] \times 100$
			B402	管路の新設率	$(\text{新設管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$
		施設更新	B501	法定耐用年数超過浄水施設率	$(\text{法定耐用年数を超えている浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$
			B502	法定耐用年数超過設備率	$(\text{法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計数} / \text{機械・電気・計装設備などの合計数}) \times 100$
			B503	法定耐用年数超過管路率	$(\text{法定耐用年数を超えている管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$
			B504	管路の更新率	$(\text{更新された管路延長} / \text{前年度末における管路延長}) \times 100$
			B505	管路の更生率	$(\text{更生された管路延長} / \text{前年度末における管路延長}) \times 100$
		事故災害対策	B601	系統間の原水融通率	$(\text{原水融通能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$
			B602	浄水施設の耐震化率	$(\text{耐震対策の施された浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$
			B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	$[(\text{沈殿・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力} + \text{ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力}) / \text{全浄水施設能力}] \times 100$
			B603	ポンプ所の耐震化率	$(\text{耐震対策の施されたポンプ所能力} / \text{耐震化対象ポンプ所能力}) \times 100$
			B604	配水池の耐震化率	$(\text{耐震対策の施された配水池有効容量} / \text{配水池等有効容量}) \times 100$
			B605	管路の耐震管率	$(\text{耐震管延長} / \text{管路延長}) \times 100$
			B606	基幹管路の耐震管率	$(\text{基幹管路のうち耐震管延長} / \text{基幹管路延長}) \times 100$
			B606-2	基幹管路の耐震適合率	$(\text{基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長} / \text{基幹管路延長}) \times 100$
			B607	重要給水施設配水管路の耐震管率	$(\text{重要給水施設配水管路のうち耐震管延長} / \text{重要給水施設配水管路延長}) \times 100$
			B607-2	重要給水施設配水管路の耐震適合率	$(\text{重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長} / \text{重要給水施設配水管路延長}) \times 100$
			B608	停電時配水量確保率	$(\text{全施設停電時に確保できる配水能力} / \text{一日平均配水量}) \times 100$
			B610	燃料備蓄日数	平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量
			B611	応急給水施設密度	応急給水施設数/ (現在給水面積/100)
			B612	給水車保有度	給水車数/ (現在給水人口/1,000)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
%	0.0	0.0	0.0	
%	100.0	100.0	100.0	
%	65.9	65.9	65.9	
%	0.00	0.14	0.20	
%	0.0	0.0	14.4	
%	17.2	19.5	18.8	
%	16.6	16.4	17.6	
%	0.51	0.47	0.37	
%	0.004	0.005	0.005	
%	0.0	0.0	0.0	
%	79.0	79.0	79.0	休止施設を除く。
%	75.4	75.4	75.4	休止施設を除く。
%	70.4	70.4	72.8	
%	60.4	60.4	87.3	
%	14.3	14.8	15.2	
%	44.3	45.1	45.1	
%	44.3	45.1	45.1	
%	19.7	20.8	21.2	
%	19.7	20.8	21.2	
%	66.9	67.9	67.0	
日	0.4	0.4	0.4	
箇所/100km ²	6.5	6.5	6.5	
台/1,000人	0.010	0.010	0.010	

目標	分類	区分	番号	業務指標	算式
安定した水の供給	施設整備	事故災害対策	B613	車載用の給水タンク保有度	車載用給水タンクの容量/（給水人口/1,000）
健全な事業経営	財務	健全経営	C101	営業収支比率	$\frac{[(営業収益 - 受託工事収益) / (営業費用 - 受託工事費)] \times 100}{}$
			C102	経常収支比率	$\frac{[(営業収益 + 営業外収益) / (営業費用 + 営業外費用)] \times 100}{}$
			C103	総収支比率	$(総収益 / 総費用) \times 100$
			C104	累積欠損金比率	$[累積欠損金 / (営業収益 - 受託工事収益)] \times 100$
			C105	繰入金比率(収益的収入分)	$(損益勘定繰入金 / 収益的収入) \times 100$
			C106	繰入金比率(資本的収入分)	$(資本勘定繰入金 / 資本的収入計) \times 100$
			C107	職員一人当たり給水収益	給水収益/損益勘定所属職員数
			C108	給水収益に対する職員給与費の割合	$(職員給与費 / 給水収益) \times 100$
			C109	給水収益に対する企業債利息の割合	$(企業債利息 / 給水収益) \times 100$
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合	$(減価償却費 / 給水収益) \times 100$
			C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	$(建設改良のための企業債償還元金 / 給水収益) \times 100$
			C112	給水収益に対する企業債残高の割合	$(企業債残高 / 給水収益) \times 100$
			C113	料金回収率	$(供給単価 / 給水原価) \times 100$
			C114	供給単価	給水収益/年間総有収水量
			C115	給水原価	$\frac{[経常費用 - (受託工事費 + 材料及び不用品売却原価 + 附帯事業費 + 長期前受金戻入)] / 年間有収水量}{}$
			C116	1か月10㎡当たり家庭用料金	1か月10㎡当たり家庭用料金（口径13mm）
			C117	1か月20㎡当たり家庭用料金	1か月20㎡当たり家庭用料金（口径13mm）
			C118	流動比率	$(流動資産 / 流動負債) \times 100$
			C119	自己資本構成比率	$\frac{[(資本金 + 剰余金 + 評価差額等 + 繰延収益) / 負債・資本合計] \times 100}{}$
			C120	固定比率	$\frac{[固定資産 / (資本金 + 剰余金 + 評価差額等 + 繰延収益)] \times 100}{}$
			C121	企業債償還元金対減価償却費比率	$\frac{[建設改良のための企業債償還元金 / (当年度減価償却費 - 長期前受金戻入)] \times 100}{}$
			C122	固定資産回転率	$\frac{(営業収益 - 受託工事収益) / [(期首固定資産 + 期末固定資産) / 2]}{}$

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
m ³ /1,000人	0.040	0.041	0.041	
%	111.5	111.9	104.9	
%	122.2	123.1	117.3	
%	122.1	123.0	117.2	
%	0.0	0.0	0.0	
%	0.4	0.1	0.1	
%	25.0	2.5	2.9	
千円/人	62,400	66,053	66,597	
%	12.1	11.4	12.3	
%	5.7	5.1	4.5	
%	44.7	45.5	46.1	
%	27.8	29.0	28.8	
%	389.1	375.3	358.6	
%	121.9	123.4	116.7	
円/m ³	166.9	166.9	167.5	
円/m ³	137.0	135.2	143.5	
円	1,347	1,347	1,347	
円	2,667	2,667	2,667	
%	239.8	240.5	254.4	
%	67.7	69.0	70.4	
%	135.4	131.9	128.9	
%	91.2	93.6	92.9	
回	0.08	0.08	0.08	

目標	分類	区分	番号	業務指標	算式
健全な 事業経営	財務	健全経営	C123	固定資産使用効率	年間配水量/（有形固定資産/10,000）
			C124	職員一人当たり有収水量	年間総有収水量/損益勘定所属職員数
			C125	料金請求誤り割合	誤料金請求件数/（料金請求件数/1,000）
			C126	料金収納率	（料金納入額/調定額）×100
			C127	給水停止割合	給水停止件数 /（給水件数/1,000）
	組織・人材	人材育成	C201	水道技術に関する資格取得度	職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数
			C202	外部研修時間	（職員が外部研修を受けた時間×受講人数）/全職員数
			C203	内部研修時間	（職員が内部研修を受けた時間×受講人数）/全職員数
			C204	技術職員率	（技術職員数/全職員数）×100
			C205	水道業務平均経験年数	職員の水道業務経験年数/全職員数
			C206	国際協力派遣者数	Σ（国際協力派遣者数×滞在日数）
			C207	国際協力受入者数	Σ（国際協力受入者数×滞在日数）
		業務委託	C301	検針委託率	（委託した水道メーター数/水道メーター設置数）×100
			C302	浄水場第三者委託率	（第三者委託した浄水場の浄水施設能力/全浄水施設能力）×100
	お客さまとのコミュニケーション	情報提供	C401	広報誌による情報の提供度	広報誌などの配布部数/給水件数
			C402	インターネットによる情報の提供度	ウェブページへの掲載回数
			C403	水道施設見学者割合	見学者数/（現在給水人口/1,000）
		意見収集	C501	モニタ割合	モニタ人数/（現在給水人口/1,000）
			C504	水道サービスに対する苦情対応割合	水道サービス苦情対応件数/（給水件数/1,000）
			C505	水質に対する苦情対応割合	水質苦情対応件数/（給水件数/1,000）
			C506	水道料金に対する苦情対応割合	水道料金苦情対応件数/（給水件数/1,000）

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
m ³ /万円	5.4	5.4	5.5	
m ³ /人	374,000	396,000	398,000	
件/1,000件	0.02	0.02	0.02	
%	92.5	92.6	92.4	
件/1,000件	6.9	7.0	6.3	
件/人	1.44	1.39	1.23	
時間/人	0.2	1.8	3.8	
時間/人	2.4	1.9	1.7	
%	55.7	55.4	56.8	
年/人	8.0	7.8	7.6	
人・日	0	0	0	
人・日	0	0	0	
%	100.0	100.0	100.0	
%	0.0	0.0	0.0	
部/件	2.7	1.8	0.9	
回	13	13	12	
人/1,000人	0.0	0.0	0.0	
人/1,000人	0.0	0.0	0.0	
件/1,000件	0.0	0.0	0.1	
件/1,000件	0.35	0.38	0.53	
件/1,000件	1.16	0.05	0.02	

分類	区分	番号	業務指標	算式
主要背景 情報	水道事業体の プロフィール	C11	給水人口規模	現在給水人口
		C12	全職員数	全職員数
	システムの プロフィール	C13	水源種別	-
		C14	浄水受水率	浄水受水量/年間配水量×100
		C15	給水人口1万人当たりの浄水場数	浄水場数/（現在給水人口/10,000）
		C16	給水人口1万人当たりの施設数	（浄水場数+送・配水施設）/（現在給水人口/10,000）
	地域条件の プロフィール	C17	有収水量密度	有収水量/計画給水区域面積
		C18	水道メーター密度	水道メーター数/配水管延長
		C19	単位管延長	導送配水管延長/現在給水人口

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
人	198,166	196,732	195,788	
人	79	74	74	
-	「深井戸」 「浄水受水」 「表流水（自流）」			
%	13.9	14.1	14.6	
箇所/10,000人	0.50	0.36	0.36	
箇所/10,000人	1.26	1.12	1.12	
1,000m ³ /ha	1.33	1.31	1.29	
個/km	71.5	72.0	72.5	
m/人	6.79	6.85	6.90	

